

2017 年度後期
「教員による授業アンケート」

～調査結果報告～

平成 30 年 3 月

奈良佐保短期大学 自己点検評価室

目次

基礎教養科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
1	英語Ⅰ	キャンベル早川久美子	演習	1
2	英語Ⅱ	竹野内 倫子	演習	2
3	英語Ⅱ	キャンベル早川久美子	演習	3
4	基礎ゼミナールⅡ	森永 夕美	演習	4
5	基礎ゼミナールⅡ	池内 ますみ 島村 知歩 野間 智子	演習	5
6	基礎ゼミナールⅡ	戸田 信聡	演習	6
7	基礎ゼミナールⅡ	杉山 晋平	演習	7
8	基礎ゼミナールⅡ	古海 忍	演習	8
9	健康・スポーツ論	上田 遥菜	講義	9
10	国語表現法	宮川 久美	講義	10
11	情報処理演習Ⅱ	中田 奈月	演習	11
12	情報処理演習Ⅱ	中村 妙子	演習	12
13	情報処理演習Ⅱ	古海 忍	演習	13
14	人権と差別	馬越 かよ子	講義	14
15	奈良の伝統行事	奈良まほろばソムリエの会	演習	15
16	奈良の伝統工芸	井倉 幸太郎	演習	16
17	奈良の伝統工芸	小林 優介	演習	17
18	奈良の伝統工芸	阪本 修	演習	18
19	フランス語Ⅱ	浅野 友子	演習	19

生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
20	医療的ケアⅠ	東 孝至	講義	20
21	医療的ケアⅢ	水野 尚美	演習	21
22	家事支援の技法Ⅰ・被服	中村 妙子	演習	22
23	家事支援の技法Ⅱ・栄養	池内 ますみ	講義	23
24	介護過程Ⅱ	森永 夕美	演習	24
25	介護過程Ⅳ	水野 尚美	演習	25
26	介護概論Ⅱ	安永 龍子	講義	26
27	介護総合演習Ⅱ	東 孝至	演習	27
28	介護総合演習Ⅳ	水野 尚美	演習	28
29	居住環境整備の技法	北口 照美	演習	29
30	権利擁護と成年後見制度	片山 美恵子	講義	30
31	高齢者に対する支援と介護保険制度	平岡 毅	講義	31
32	こころとからだのしくみⅠ	解良 優基	講義	32
33	こころとからだのしくみⅢ	森田 婦美子	講義	33
34	こころとからだのしくみⅣ	畑下 芳史	講義	34
35	コミュニケーションの基本	東 孝至	講義	35
36	児童家庭福祉	中西 真	講義	36
37	障害の理解Ⅱ	安永 龍子	講義	37
38	生活支援技術Ⅱ	東 孝至	演習	38
39	生活支援技術Ⅱ	武田 千幸	演習	39
40	セラピー概論	村本 早希	講義	40
41	専門ゼミナール	水野 尚美	演習	41
42	認知症の理解Ⅰ	水野 尚美	講義	42
43	発達と老化の理解	吉田 裕司	講義	43
44	福祉行財政と福祉計画	潮谷 光人	講義	44

生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
45	運動生理学	街 勝憲	講義	45
46	栄養指導論実習 I	野間 智子	実習	46
47	応用栄養学実習	島村 知歩	実習	47
48	給食実務論	島村 知歩	講義	48
49	公衆衛生学	高尾 理樹夫	講義	49
50	社会福祉概論	武田 千幸	講義	50
51	食品加工実習	池内 ますみ	実習	51
52	食品材料学(加工学を含む)	池内 ますみ	講義	52
53	食品の官能評価・鑑別論	池内 ますみ	演習	53
54	食料経済	坊 安恵	講義	54
55	人体の構造と機能 II	毛受 真由美	講義	55
56	生化学	三浦 さつき	講義	56
57	生化学実験	坊 安恵	実習	57
58	生理学実習	三浦 さつき	実習	58
59	ゼミナール II (食物栄養)	野間 智子	演習	59
60	専門調理(製菓実習)	箕山 なおみ	実習	60
61	フードコーディネータ論	伊藤 知子	講義	61
62	臨床栄養学	毛受 真由美	講義	62

生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
63	イラスト・画像処理 I	加来 慎太郎	演習	63
64	オフィス実務演習 II	吉村 司	演習	64
65	カラーコーディネータ演習	中村 妙子	演習	65
66	経営学総論	戸田 信聡	講義	66
67	経理実務 II	谷村 真理	講義	67
68	ゼミナール II (ビジネスキャリア)	上田 利博	演習	68
69	卒業研究 II	戸田 信聡	演習	69
70	地域活性化論	坊 安恵	講義	70
71	データベース	古海 忍	演習	71
72	ビジネス文書	吉村 司	講義	72
73	ホームページ作成	古海 忍	演習	73
74	ホスピタリティ論	碓 ともみ	講義	74

地域こども学科 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
75	音楽科教育法	安田 寛	講義	75
76	音楽基礎演習Ⅱ(ソルフエージュ)	吉田 直子	演習	76
77	音楽基礎演習Ⅱ(理論)	中島 倍代	演習	77
78	音楽Ⅱ	奥田 尚子	演習	78
79	音楽Ⅱ	玉井 奈摘	演習	79
80	音楽Ⅱ	中島 倍代	演習	80
81	音楽Ⅱ	本間 晶子	演習	81
82	音楽Ⅱ	宮田 眞理	演習	82
83	音楽Ⅱ	山下 玲子	演習	83
84	音楽Ⅱ	吉田 直子	演習	84
85	音楽Ⅳ	玉井 奈摘	演習	85
86	音楽Ⅳ	本間 晶子	演習	86
87	音楽Ⅳ	宮田 眞理	演習	87
88	音楽Ⅳ	和田 宏一	演習	88
89	家庭支援論	中田 奈月	講義	89
90	教育実習指導 a	増井 啓子	演習	90
91	教育実習指導(小)b	杉山 晋平	演習	91
92	教育方法の理論と実践	杉山 晋平	講義	92
93	教職実践演習(幼・小)	増井 啓子	演習	93
94	国語科教育法	西岡 由郎	講義	94
95	こどもの食と栄養	須谷 和子	演習	95
96	在宅保育論	北村 麻樹	講義	96
97	算数科教育法	重松 敬一	講義	97
98	社会的養護	瀬戸野 喜雄	講義	98
99	障害者福祉	李 仙恵	講義	99
100	小児保健B	安永 龍子	講義	100
101	図工科教育法	岡田 陽子	講義	101
102	生活科教育法	小幡 肇	講義	102
103	ゼミナールⅠ(音楽)	増井 啓子	演習	103
104	ゼミナールⅠ(心と発達)	別所 崇	演習	104
105	ゼミナールⅠ(こども教育)	杉山 晋平	演習	105
106	ゼミナールⅠ(自然と遊び)	古海 忍	演習	106
107	ゼミナールⅠ(スポーツ)	大高 千明 杉島 尚徳	演習	107
108	ゼミナールⅡ	杉山 晋平	演習	108

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載 ページ
109	総合演習(音楽)	増井 啓子	演習	109
110	総合演習(心と発達)	中田 奈月	演習	110
111	総合演習(自然と遊び)	古海 忍	演習	111
112	総合演習(スポーツ)	大高 千明	演習	112
113	総合演習(スポーツ)	杉島 尚徳	演習	113
114	相談援助演習Ⅱ①	梓川 一	演習	114
115	相談援助実習指導③	梓川 一	演習	115
116	体育科教育法	北澤 太野	講義	116
117	乳児保育	北村 麻樹	演習	117
118	保育(環境)	藤田 悦代	演習	118
119	保育(言葉)	増井 啓子	演習	119
120	保育実習指導Ⅰa	梓川 一	演習	120
121	保育実習指導Ⅱ	北村 麻樹 中田 奈月	演習	121
122	保育実習指導Ⅲ	梓川 一	演習	122
123	保育心理学演習	別所 崇	演習	123
124	保育相談支援	別所 崇	演習	124
125	保育内容総論	和田 公子	演習	125
126	保育(人間関係)	北村 麻樹	演習	126
127	保育表現演習Ⅱ	藤田 悦代	演習	127
128	保育(表現・身体表現)	柳田 紀美子	演習	128
129	保育(表現・幼児造形)	増井 啓子	演習	129

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : キャンベル早川久美子 職名 : 非常勤 所属 : 全学
 科目名称 : 英語 I 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8305c 授業形態 : 演習 受講者数 : 28名 回答者数 : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	2	-	-	19	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.29		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 19.0%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 47.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 19.0%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 47.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.14		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.5%	やや 高かった 47.6%	適切 であった 28.6%	やや 低かった 9.5%	非常に 低かった 4.8%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.95		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 76.2%	ある程度 注意 していた 19.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 4.8%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.90		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.05		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 竹野内 倫子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 英語Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8310a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 24名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	-	-	-	21	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00	■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 - 9.5%	60分程度 - 38.1%	30分程度 52.4%	ほとんど していない	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 - 9.5%	60分程度 - 38.1%	30分程度 52.4%	ほとんど していない	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.48	■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 28.6%	やや 高かった 14.3%	適切 であった 52.4%	やや 低かった 4.8%	非常に 低かった -	無回答 -
授業の 進め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62	■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 42.9%	ある程度 注意 していた 23.8%	あまり 注意し てい なかつ た	全く 注意し てい なかつ た	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67	■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10	■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.81	■ ◆				

1 授業改善の工夫

授業内容が非常に難しいと感じる学生に考慮して、毎回の授業終了前に次回授業の文法事項を簡単に伝えたり、授業中に理解度を確認するようにして「次に何をやるのか」、「今何が分からないのか」をより意識させることが必要だと考える。また、学生が興味のある分野の英語のドラマや音楽、インターネットサイトなどのツールを紹介するなどして、家庭で英語に触れる時間をより長くし、さらに興味を持たせ、学んだことを深めて遠い将来ではなく近い将来使いたいと思う学生を増やしたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業アンケートでは、授業の難易度が「非常に高かった」と感じた学生が前期よりも12%ほど高かったのだが、それは後期の授業内容が難しくなったためだと考えられる。宿題に関しては、毎回の宿題箇所がある程度決まっておき、それをシラバスに記載していたため、取り組むべき箇所を理解して準備をしていく学生が多かった。ただ、家庭では「30分程度の勉強」または「それ以下」の勉強時間だったと答えた学生が9割以上だった。これは家庭学習は宿題のみという学生が多かったためと考えられる。また、授業アンケートの、授業で学習した内容が実生活で役立つという質問には「あまり思わない」、「まったく思わない」が5割以上いたのに比べ、この授業が自分の将来に役立つと思いましたがという質問に対しては7割以上が「そう思う」、「ある程度そう思う」と答えた。このことから、現在、実生活で英語に触れる機会は多くないが、いつかは使うのではないかと考える学生が多くいることが分かった。授業内のアクティビティに関しては、後期は外国のニュース番組を見たり、学生が描いた地図をプロジェクターで見せるなど視覚を使ったものが前期よりあったため、それらが学生のモチベーションと集中度を保つことに役立つと感じる。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : キャンベル早川久美子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 英語Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8310b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 30名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	18	-	-	1	1	4	-	13	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 10.5%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.5%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.95		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 36.8%	適切 であった 42.1%	やや 低かった 5.3%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.37		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 42.1%	ある程度 注意 していた 52.6%	あまり 注意して いなかった 5.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.37		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.26		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.42		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 森永 夕美 職名 : 准教授 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナールII 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8005a 授業形態 : 演習 受講者数 : 14名 回答者数 : 13名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.23		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 7.7%	60分 程度 7.7%	30分 程度 7.7%	ほとんど していない	76.9%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 15.4%	60分 程度 7.7%	30分 程度 -	ほとんど していない	76.9%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.31		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に 高かった 7.7%	やや 高かった 46.2%	適切 であった 46.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.31		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 46.2%	注意 していた 30.8%	ある程度 注意 していた 15.4%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 7.7%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.38		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.15		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.31		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 池内 ますみ・島村 知歩・野間 智子 職名 : - 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナールII 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8005b 授業形態 : 演習 受講者数 : 40名 回答者数 : 38名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	37	1	-	-	-	38	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.26		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 5.3%	ほとんど していない	無回答	94.7%
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 2.6%	30分 程度 5.3%	ほとんど していない	無回答	92.1%
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.95		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に 高かった 7.9%	やや 高かった 44.7%	適切 であった 36.8%	やや 低かった 5.3%	非常に 低かった 2.6%	無回答	2.6%
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.89		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 10.5%	注意 していた 55.3%	ある程度 注意 していた 26.3%	あまり 注意して いなかった 5.3%	全く 注意して いなかった 2.6%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.95		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	2	3.71		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.92		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナールⅡ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8005c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目	教員 自己評価	学生の 評価平均	◇ 教員の自己評価 ■■■■ 学生の評価平均						
			1	2	3	4	5		
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.00		■■■■■■■■■■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.00		■■■■■■■■■■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.00		■■■■■■■■■■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.20		■■■■■■■■■■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■■■■■■■■■■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.40		■■■■■■■■■■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 杉山 晋平 職名 : 講師 所属 : 全学
 科目名称 : 基礎ゼミナールⅡ 科目群 : 基礎教養科目
 授業コード : 8005de 授業形態 : 演習 受講者数 : 66名 回答者数 : 53名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	53	-	-	-	-	-	-	52	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.49		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.9%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.7%	30分 程度 13.2%	ほとんど していない 77.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 1.9%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.7%	30分 程度 11.3%	ほとんど していない 79.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.42		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 11.3%	やや 高かった 7.5%	適切 であった 81.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.60		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 49.1%	注意 していた 30.2%	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.38		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.57		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 基礎ゼミナールⅡ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8005de **授業形態** : 演習 **受講者数** : 66名 **回答者数** : 53名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	53	-	-	-	-	-	-	52	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49						
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分以上 1.9%	90分程度 1.9%	60分程度 5.7%	30分程度 13.2%	ほとんど していない	77.4%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分以上 1.9%	90分程度 1.9%	60分程度 5.7%	30分程度 11.3%	ほとんど していない	79.2%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.42						
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.3%	やや 高かった 7.5%	適切 であった 81.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60						
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 49.1%	注意 していた 30.2%	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.60						
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.38						
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.57						

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 上田 遥菜 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 健康・スポーツ論 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8250ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 55名 **回答者数** : 48名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	48	-	-	-	2	-	44	-	2

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.92		◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 6.3%	90分 程度 4.2%	60分 程度 8.3%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 72.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 6.3%	90分 程度 2.1%	60分 程度 10.4%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 72.9%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.15		◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.4%	やや 高かった 16.7%	適切 であった 64.6%	やや 低かった 6.3%	非常に 低かった 2.1%	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.17		◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 27.1%	注意 していた 22.9%	ある程度 注意 していた 29.2%	あまり 注意して いなかった 8.3%	全く 注意して いなかった 12.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.08		◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.88		◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.04		◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 官川 久美

職名 : 教授

所属 : 全学

科目名称 : 国語表現法

科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8110cd

授業形態 : 講義

受講者数 : 77名

回答者数 : 74名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	69	5	-	-	19	44	-	9	-	2

◇ 教員の自己評価
■ 学生の評価平均

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.27		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.1%	90分 程度 1.4%	60分 程度 10.8%	30分 程度 32.4%	ほとんど していない 51.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 2.7%	90分 程度 2.7%	60分 程度 8.1%	30分 程度 29.7%	ほとんど していない 56.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.99		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.2%	やや 高かった 21.6%	適切 であった 58.1%	やや 低かった 2.7%	非常に 低かった 1.4%	無回答 4.1%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.08		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 10.8%	注意 していた 59.5%	ある程度 注意 していた 27.0%	あまり 注意して いなかった 2.7%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.88		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.09		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 情報処理演習Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8410cf **授業形態** : 演習 **受講者数** : 37名 **回答者数** : 34名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	34	-	-	-	-	17	-	17	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.18		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 8.8%	60分 程度 8.8%	30分 程度 14.7%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 -	90分 程度 8.8%	60分 程度 17.6%	30分 程度 17.6%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.09		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に 高かった 8.8%	やや 高かった 41.2%	適切 であった 47.1%	やや 低かった 2.9%	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.76		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 23.5%	注意 していた 44.1%	ある程度 注意 していた 26.5%	あまり 注意し てい なかつ た 5.9%	全く 注意し てい なかつ た	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.76		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	3.71		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.15		■				

1 授業改善の工夫

課題を出さないという選択肢はないため、授業を受ける前後に30分から60分程度の課題をこなしてもらうことが必要になる。次年度は、大学は予習復習が必須であることを周知すると同時に、小テストを繰り返すなど、課題をこなすことで自分に力がついていくことを実感できるような機会をつくりたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業では予習復習を促すため、毎回課題を出している。30分から60分程度で完成することを想定した課題であったが、今回は半数が課題それ自体をしていないという結果になった。それにもかかわらず自由記述欄には「宿題が多くて大変」「宿題を出しすぎ」といった意見が見られる。課題は評価に直結している。課題をこなさないと次の授業に支障が出るようにあえて設定し、課題に取り組むように促す工夫をしている。別のクラスでは自分の評価を上げるため、授業に支障がでないようについていくため課題をしていこうという前向きな姿が見られ、実際に課題をしなかった学生はいなかった。しかしこのクラスは、合格最低点がとれば課題をこなさないでよいという風潮があったようであった。課題の必要性をどのように説明するか、毎週45分程度の課題を学生が取り組むにはどうしたらよいか、課題が残る。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 情報処理演習Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8410b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	8	-	-	1	8	-	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.56		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 44.4%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 22.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.56		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 77.8%	注意 していた 11.1%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67		■ ◆				

1 授業改善の工夫

生活福祉コース1回生の希望者で9人の授業であった。それでも個人差があり、エクセルに対して理解度が高い学生と、何度説明をしても理解できない学生とがいる。また、授業中に出来ない場合、家で仕上げてくる学生がいる反面、そのままの学生もいる。出来るだけ足並みを揃えて欲しいながらも、遅れがちな学生もいるが、パソコンが好きになることからやる気ができると考え、出来るだけ計算、グラフ、データベース機能を楽しく使えるように授業を進めるように心がけている。

2 アンケート結果に対する見解

パソコンが得意な学生、不得意な学生がいる中で、概ねエクセルを楽しく学んでいることが分かり、エクセルへの興味が深まったことが読み取れた。受講生の半分以上の学生が、事前、事後学習を行っており、熱意をもって取り組んでいた。高い評価が得られたのは、人数が少なく個別指導が出来たからと思われる。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 情報処理演習Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8410ade **授業形態** : 演習 **受講者数** : 69名 **回答者数** : 64名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	61	2	-	1	-	18	-	45	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.1%	90分 程度 -	60分 程度 1.6%	30分 程度 9.4%	ほとんど していない 85.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.1%	90分 程度 -	60分 程度 1.6%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 82.8%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.06		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 低かった	非常に 高かった 20.3%	やや 高かった 28.1%	適切 であった 46.9%	やや 低かった 3.1%	非常に 低かった 1.6%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.06		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 26.6%	注意 していた 42.2%	ある程度 注意 していた 29.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 1.6%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.09		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.81		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.25		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 馬越 かよ子 **職名** : 教授 **所属** : 全学
科目名称 : 人権と差別 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8105cd **授業形態** : 講義 **受講者数** : 57名 **回答者数** : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	48	-	1	-	-	-	48	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.27		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 8.2%	90分 程度 2.0%	60分 程度 12.2%	30分 程度 30.6%	ほとんど していない 46.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 8.2%	90分 程度 2.0%	60分 程度 8.2%	30分 程度 24.5%	ほとんど していない 57.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.45		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.3%	やや 高かった 22.4%	適切 であった 59.2%	やや 低かった 4.1%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.37		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 28.6%	注意 していた 49.0%	ある程度 注意 していた 20.4%	あまり 注意し てい なかった 2.0%	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.27		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.18		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.41		■				

1 授業改善の工夫

人権や差別について、最近のニュースや日常生活で起こる身近な事例等を通して考察すると共に、絵本の朗読で、学生自らが関心のある人権テーマを取り上げて他者に訴えるなど、人権文化を身につけるための様々な工夫が、人権に対する理解度を高め、自分の将来に役立つと多くの学生が評価している。しかし、まだ人権に対して固定的な考えの学生に対しては、様々な人権問題について当事者の話を聞くなど視野を広げる工夫が必要であると考え。

2 アンケート結果に対する見解

アンケート結果から、新聞や書物による人権に関する最新情報や人権とは無縁と思われる童謡や絵本などからも、日常生活の中に潜む人権課題に気付く等、人権の本質について分かりやすく理解でき、差別を生み出すメカニズムについてもよく理解したことが伺える。授業を通して、新しい知識が得られ、問題意識や関心が高まったとしており、地域こども学科2回生にとっては、子どもの自尊感情を育むために求められることが理解できて自分の将来に役立つと思うなど、授業の狙いや目的が達成できたと考えられる。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 奈良まほろばソムリエの会 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 奈良の伝統行事 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8118・9154 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 24名 **回答者数** : 20名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	18	2	-	-	2	13	-	5	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.85		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.85		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつた	全く 注意し てい なかつた	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.80		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.75		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.65		■ ◆				

1 授業改善の工夫

伝統行事という授業内容のため、DVD・パワーポイント使用と、行事の解説や由緒説明との併用で今後も授業を進めていく。授業の度に理解度を確認する小テストを行っているが、予習復習は生徒たちに今後も要求しないつもりでいる。奈良の伝統行事を「知って」いただき、それぞれの行事本来の主旨を理解してもらい、これから関心をもってもらうことを目的としているのだが、学生が興味を抱くような目線での行事紹介に、さらに工夫が必要かと感じた。DVDの時間中などに私語が多くなるグループがあり、何度も注意をしたが、注意をしたときだけ一時的に静かになることもあった。今年度は学生の席の決め方に工夫を考えたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の自由記述のなかに、授業中の雑談(私語)に対する注意をしてほしいというのがあった。注意はその都度していたのだが、講師としてももう少し厳しい態度で叱る必要があったのかもしれないが、私語の多いグループたちとフレンドリーに会話をするように努めたこともあってか、だんだんと注意をすると静かにしてくれるようになったと思っている。京都への敵対心を持っていると誤解している学生がいたようだが、日本の文化が京都から始まっているように伝わっているが、そのルーツは奈良にある(例えば茶道や和菓子など)ことを説明したのだが、その説明の仕方が「京都は上手に宣伝するからね～」などと冗談を交えたことが誤解を招くことになったのだと思う。今後は言葉に気をつけたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 井倉 幸太郎 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 奈良の伝統工芸 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8119 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 29名 **回答者数** : 24名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	24	-	-	-	2	10	5	7	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価					■ 学生の評価平均							
				1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.04		■					■						
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	4.2%	12.5%	83.3%	-	■			
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	4.2%	16.7%	75.0%	-	■			
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.29		■					■						
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に高かった	やや高かった	適切であった	やや低かった	非常に低かった	無回答	4.2%	4.2%	87.5%	4.2%	-	-	■	
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.33		■					■						
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する必要はなかった	注意していた	ある程度注意していた	あまり注意していなかった	全く注意していなかった	無回答	41.7%	37.5%	16.7%	4.2%	-	-	■	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	4.17		■					■						
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	-	4.00		■					■						
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	3.67		■					■						

1 授業改善の工夫

6人で授業を担当させていただきましたが、一人につき2コマしか授業できないので、私の授業に関しては、あまり深い所まで説明できなかったと思います。生徒の興味を引いたり、もっと話を聞いてもらうには、もう少し生徒とコミュニケーションをし、お互いの事を知る時間が必要だと感じました。実際、2コマの授業では、自身の自己紹介が大部分をしめました。私たち作り手が授業をするより、伝統工芸品の使い手のスペシャリスト、例えば、茶道家や華道家の方、料理人の方や工芸品を取り扱い販売されている方等のほうが、使い手としての工芸品の魅力を私たちより伝えられると思いますし、工芸品を身近に生活に取り入れる術や魅力を教える事が出来ると思います。もっと工芸品を身近に感じてもらう事が、奈良の伝統工芸に興味を持ってもらえる事だと思います。

2 アンケート結果に対する見解

私もこのような授業をするのは初めての経験でしたので、授業の完成度は低かったと反省しております。沢山の作品に実際に触れていただきたかったのですが、一人で作品を持って行くには、数に限界があります。生徒と奈良のギャラリー等へ出かけられたら良いと思いました。授業改善の工夫でも書きましたが、作り手よりも使い手が、この授業をする方が良いと思います。もしくは、使い手の方が加わられた方が良いと思います。工芸品は飾っておくだけでなく、使えるのも魅力です。使い手あつての工芸品ですから、その魅力や知識を伝えるのに欠かせない存在だと思います。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 小林 優介 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 奈良の伝統工芸 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8119 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 29名 **回答者数** : 24名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	24	-	-	-	2	10	5	7	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.04		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 4.2%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 4.2%	90分 程度 -	60分 程度 4.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 75.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.29		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に 高かった 4.2%	やや 高かった 4.2%	適切 であった 87.5%	やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 41.7%	注意 していた 37.5%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意し てい なかつ た 4.2%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	4.17		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	3.67		■				

1 授業改善の工夫

当該授業を担当するにあたり学生の集中力を如何に維持するかを心掛けた。スライドや配布資料を用意し、教員の話だけでなく視覚的に内容を理解できるよう配慮した。また、製品に加え、製墨に係る道具(原料・木型)を教室に持ち込み、実際に触れてもらうことで学生自身の五感で奈良が誇る伝統工芸に触れてもらった。

2 アンケート結果に対する見解

各教員が2回ずつ担当する形式であった為、教員により進行の仕方などに差異が生じるのは致し方ないと考える。その点から考えるとアンケートにおいておおよそその項目で平均に近い評価を得たのは満足できるところだ。⑩の項目、延いてはこの科目に通ずる課題として各教員より得た知識を体系化するコーディネーターの不在が挙げられる。6名の教員よりそれぞれの伝統工芸について学ぶことはできるが、この授業の目標は各伝統工芸について知るだけではなく、それに共通する精神や課題などを見つけ出すことであると考え。それにはやはりこの科目の担当教員がコーディネーターとなり、各教員より学んだことを総括することが必要ではないだろうか。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 阪本 修 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : 奈良の伝統工芸 **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8119 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 29名 **回答者数** : 24名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	24	-	-	-	2	10	5	7	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.04		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 4.2%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない	83.3%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 4.2%	90分 程度 -	60分 程度 4.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	75.0%	無回答 -
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.29		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.2%	やや 高かった 4.2%	適切 であった 87.5%	やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 41.7%	注意 していた 37.5%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.67		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 浅野 友子 **職名** : 非常勤 **所属** : 全学
科目名称 : フランス語Ⅱ **科目群** : 基礎教養科目
授業コード : 8335 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 3名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 66.7%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 100.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■				

1 授業改善の工夫

フランス語Ⅱは、前期フランス語Ⅰの積み重ねの上に、初級文法の後半を学習することになり、どうしても学生の理解度にバラつきが出てしまう。ここで置き去りにされる学生が出ないよう、A4 1枚程度のフランス語文を独自に用意し、教科書と合わせて授業を行っている。文法的な内容は、前期の復習に新しい事項を加え、毎回のテーマは、学生一人一人の興味・関心にできるだけ沿うようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

設問④～⑧については、一人一人の学生と対話しながら、できるだけそれぞれの意向に沿うよう努力してきた授業の進め方を、学生の側でも理解し、評価してくれたものと受け取っている。さらに、設問⑩について、必ずしも就職に直結しないにもかかわらず、「将来に役立つと思う」との回答が得られ、学ぶことの価値について、独自の見解を持つ学生がいることに勇気づけられた。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 医療的ケア I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1570 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	18	-	-	1	17	-	-	-	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 68.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 5.3%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 52.6%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.26		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 26.3%	適切 であった 57.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.16		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 26.3%	注意 していた 31.6%	ある程度 注意 していた 42.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.16		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.95		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.42		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 医療的ケアⅢ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1585 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 44.4%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 33.3%	90分 程度 11.1%	60分 程度 44.4%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない -	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 44.4%	やや 高かった 22.2%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.67		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 22.2%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.56		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.67		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 家事支援の技法 I・被服 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1330 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.22		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 22.2%	ほとんど していない	無回答 77.8%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 44.4%	ほとんど していない	無回答 55.6%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.56		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.78		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 88.9%	注意 していた 11.1%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.78		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.56		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 家事支援の技法Ⅱ・栄養 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1335 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.44		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 33.3%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.11		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.11		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 森永 夕美 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1410 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.05		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 5.3%	30分 程度 21.1%	ほとんど していない	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 10.5%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.32		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 52.6%	適切 であった 31.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	4.16		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 26.3%	注意 していた 52.6%	ある程度 注意 していた 21.1%	あまり 注意し ていなかった -	全く 注意し ていなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.32		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.21		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.68		■ ◆				

1 授業改善の工夫

自分たちが学んだことと利用者の状況を、点と点をつなげながら考えていく必要があります。これが正解というものも無いので、難しい教科のひとつであります。しかし、クラスメートと話し合ったり記入を繰り返したりするなかで徐々に上達すると考えます。また、この後、実習で実践することでさらに理解できると考えます。

2 アンケート結果に対する見解

・記入の方法については、初めての段階なので、今回のように教員が見本を提示しながらしていく。
 ・これまで学んだ病気や障害、介護の知識・技術の確認を繰り返しながら、図書館等で調べる力も身につけていく必要がある。
 ・以前の利用者事例は紙での情報のみであったが、今回からDVDで実際の利用者を見ながら情報収集をする練習ができたのは良かったと思うため、今後もよい事例を検討する必要がある。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護過程IV **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1420 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.89		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.44		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.44		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.56		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.44		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護概論Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1210 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	20	-	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.90		◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.5%	90分 程度 -	60分 程度 4.8%	30分 程度 23.8%	ほとんど していない 61.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 4.8%	90分 程度 -	60分 程度 14.3%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 61.9%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.95		◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 23.8%	やや 高かった 19.0%	適切 であった 52.4%	やや 低かった -	非常に 低かった 4.8%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.90		◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.3%	注意 していた 57.1%	ある程度 注意 していた 23.8%	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た 4.8%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00		◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.95		◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.19		◆				

1 授業改善の工夫

介護現場で起こっている現状などを伝えるために、厚労省などから出ている報告書なども参考にしながら授業をおこなった。また、法律に基づいて行なわれているために、最新の法律の改正などを盛り込み授業をおこなった。養成校にも国家試験が義務づけられたことをふまえ、試験問題なども授業の中に入れて、国家試験に向けての意識付けを行なった。

2 アンケート結果に対する見解

全体の評価点としては低い結果になった。自由記述に「難しかった」「スライドが小さくて見えづらい」「プリントの字が細かすぎて読めない」などがあり、授業を理解するのに活用した教材の改善が必要である。学生への課題はほとんど課していないために、事前事後学習をしていない学生が6割いた。事前事後学習に取り組めるように課題などをかすことも検討する必要がある。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1456a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	19	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.16		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.5%	90分 程度 5.3%	60分 程度 21.1%	30分 程度 15.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.3%	90分 程度 10.5%	60分 程度 10.5%	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 42.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.37		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 31.6%	適切 であった 52.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.26		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 26.3%	注意 していた 52.6%	ある程度 注意 していた 21.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.32		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.26		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.32		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 介護総合演習Ⅳ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1465 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.89		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.44		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.78		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北口 照美 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 居住環境整備の技法 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1325 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.44		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意し てい なかつた	全く 注意し てい なかつた	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.44		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.44		■				

1 授業改善の工夫

快適な生活には、住環境が生活の質と深く関わっていることの理解が大切である。学生自身が自分の生活を観察することで、環境整備の重要性を気づくように計画している。環境整備のための装備や機器を実際に計測するなど、体験や実技を通して学習が身につくように工夫している。日常生活空間にかかわる事項を科学的に理解できるよう、毎回の講義での小テストの在り方を工夫したい。

2 アンケート結果に対する見解

受講生の多くは受講態度もよく課題にもまじめに取り組んでいた。講義内容は日常の生活場面に直結することであり、自分の実際の生活行動を観察して、感じ、考え、理解しようとしている様子が見える。学生が自分自身で体験や測定するなど、自分の身体を動かして行いレポートを書くこと、また、講義での説明はより具体的な事例で行うことなどを心掛けた。これらが、学生自身の「居住環境整備の理解」につながったと感じる。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 片山 美恵子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 権利擁護と成年後見制度 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1741 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	4	-	-	2	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.33		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	5.00		■ ◆				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.50		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67		■ ◆				

1 授業改善の工夫

「権利擁護と成年後見」については、学生にとって「非日常的」な授業内容と感ずることが多く、内容にしても「福祉専門用語」が馴染みにくいと考えていました。そのため「日常的事例」を交えて、実感しやすいように心がけました。また、授業開始15分は、前回授業の振り返りをして理解度を図り、授業終了10分前には、当日の「まとめ」を伝え、質問や理解度の確認をしました。授業前後の勉強、課題の取り組みについてはレポート等を課すなど工夫して関心を深め、習熟度を図りたいと考えます。

2 アンケート結果に対する見解

総じて高評価を得たことに満足しています。授業内容では半数以上の学生が授業レベルを高く感じていることは工夫が必要だと思いました。学生にとって分り難い文言や福祉制度、福祉専門用語などは平易な言葉に置き換えたり、事例を用いてイメージしやすいよう工夫することで理解度や習熟度を図っていきたいと考えています。また、権利擁護の大切さを学んで、半数以上の学生が将来に役立つと感じてくれたことに、遣り甲斐を感じました。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 平岡 毅 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 高齢者に対する支援と介護保険制度 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1215 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 24名 **回答者数** : 24名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	3	-	2	19	-	-	3	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
					1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.08		■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 8.3%	30分 程度 20.8%	ほとんど していない	無回答 54.2%	-	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 12.5%	60分 程度 20.8%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない	無回答 41.7%	-	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.46		■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 45.8%	やや 低かった -	非常に 低かった 4.2%	無回答 -	-	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.46		■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 54.2%	注意 していた 29.2%	ある程度 注意 していた 12.5%	あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.42		■					
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.13		■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30		■					

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 解良 優基 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ころとからだのしくみ I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1550 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 23名 **回答者数** : 23名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	2	-	-	21	-	2	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.30		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 8.7%	60分 程度 4.3%	30分 程度 17.4%	ほとんど していない	無回答 69.6%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.3%	60分 程度 4.3%	30分 程度 34.8%	ほとんど していない	無回答 56.5%	-
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.35		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 13.0%	やや 高かった 26.1%	適切 であった 60.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.14		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 39.1%	注意 していた 34.8%	ある程度 注意 していた 21.7%	あまり 注意して いなかった 4.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.22		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 森田 婦美子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : こころとからだのしくみⅢ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1560 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	21	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.29		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 9.5%	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 9.5%	30分 程度 38.1%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.52		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 28.6%	やや 高かった 38.1%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.57		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 19.0%	注意 していた 71.4%	ある程度 注意 していた 9.5%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.52		■				

1 授業改善の工夫

今年度は外国人の学生も学習していたので、授業方法の工夫をおこないました。ビデオ等を用い、視覚面から理解深めることをおこないました。結果的に、現役生も授業に興味を持ち学習の理解にも繋がったと考えられます。

2 アンケート結果に対する見解

社会人の学生が大変熱心で学習に取り組んでくれたと評価します。その影響で現役生も多少刺激され、理解を深められたと評価します。毎年のことですが、現役生は自己学習をすることは大変苦手な状態であるため、今後課題等の提出など学習環境を整えることが必要と考えています。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 畑下 芳史 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : こころとからだのしくみⅣ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1565 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	21	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
					1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	3	4.00		■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 4.8%	90分 程度 9.5%	60分 程度 4.8%	30分 程度 9.5%	ほとんど していない	71.4%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.5%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 38.1%	ほとんど していない	52.4%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.10		■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 19.0%	やや 高かった 23.8%	適切 であった 52.4%	やや 低かった -	非常に 低かった 4.8%	無回答	-	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.05		■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 19.0%	あまり 注意して いなかった 9.5%	全く 注意して いなかった -	無回答	4.8%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.86		■					
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.24		■					

1 授業改善の工夫

昨年までの経験から、講義だけでは理解度が低いと考え、映像などを多く用いてより理解しやすいようにした。さらに昨年からの相互実習に加えてマネキンを用いた実習を取り入れ、より実践的なことができるようにしている。介護職の現場では、まだまだ口腔ケアを含め歯科分野に対する関心が低いのが現状であることから、まずは興味を持ってもらうことに主眼を置いた講義を行っている。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度については、それぞれ介護職になるという強い意識を持って入学している学生なので、講義の妨げになるような行為(私語など)については最初の講義時に注意はしたが、居眠り、遅刻については個々の自覚の問題なので特に注意は行っていない。ただ毎年のことではあるが、学生間の基礎学力の差が大きいため、すべての学生に理解できるような講義は難しいと考えている。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : コミュニケーションの基本 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1250 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 21名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	-	-	-	21	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 9.5%	60分 程度 -	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 76.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.8%	90分 程度 4.8%	60分 程度 4.8%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 52.4%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.24		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 23.8%	やや 高かった 19.0%	適切 であった 57.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.19		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 23.8%	注意 していた 61.9%	ある程度 注意 していた 4.8%	あまり 注意して いなかった 4.8%	全く 注意して いなかった -	無回答 4.8%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.10		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.10		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.52		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中西 真 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 児童家庭福祉 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1655 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 11名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	5	-	-	5	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.80		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.40		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.25		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.40		■ ◆				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.80		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 障害の理解Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1530 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 33名 **回答者数** : 32名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	21	11	-	-	30	-	-	1	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.09		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 3.1%	90分 程度 6.3%	60分 程度 6.3%	30分 程度 28.1%	ほとんど していない 56.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 6.3%	90分 程度 6.3%	60分 程度 9.4%	30分 程度 37.5%	ほとんど していない 40.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.38		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.6%	やや 高かった 34.4%	適切 であった 46.9%	やや 低かった -	非常に 低かった 3.1%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.22		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 18.8%	注意 していた 53.1%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった 3.1%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.13		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.50		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 東 孝至 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1310a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 15.8%	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 26.3%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.47		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 26.3%	やや 高かった 31.6%	適切 であった 42.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.63		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 31.6%	注意 していた 57.9%	ある程度 注意 していた 5.3%	あまり 注意して いなかった 5.3%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.42		■				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.53		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.79		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生活支援技術Ⅱ **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1310a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 19名 **回答者数** : 19名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	-	18	-	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 15.8%	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 26.3%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.47		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に 高かった 26.3%	やや 高かった 31.6%	適切 であった 42.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.63		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 31.6%	注意 していた 57.9%	ある程度 注意 していた 5.3%	あまり 注意し てい なかつ た 5.3%	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	4.42		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	4.53		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	4.79		■				

1 授業改善の工夫

生活支援技術Ⅱでは、前期科目の生活支援技術Ⅰで学んだことを踏まえながら、新たな技術を習得することを目的としている。実施する介護に対して学生が理由を説明できるよう、講義・演習をセットで展開するようにしている。授業で基本的な技術を習得し、介護現場に実習に出た際には基本から応用した技術を学び、習得するよう説明をしている。また、介護者役だけでなく利用者役も経験することで、介護を受ける側の気持ちを考えられるようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

授業内では練習できる回数が限られているが、授業前や授業後に勉強をしたり課題に取りくんだりした学生の割合が全体的に低く、予習復習の必要性をもっと訴える必要があると感じた。自由記述では「繰り返し練習するしかない」といっている学生もいるが、全体的に行動が伴っていないように思われる。反復して行うことで自己の課題に気づくことができ、技術の向上につながるため、学習への意欲を高める仕組みを考える必要があると思われる。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 村本 早希 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : セラピー概論 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1230 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	10	-	-	9	-	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 90.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 80.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.30		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 40.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.30		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 60.0%	注意 していた 20.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった 20.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.20		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.20		■				

1 授業改善の工夫

授業をより受け入れやすく、話を聞きやすくするために、プリントや質問などを増やしたり参加型の授業を行った。今学生たちが感じている疑問や不安点を見つけることで、介護者や利用者さんの不調やケアに対する意識が高まるような視点を持つことを目標とした。このような授業を行ったことで、実際の介護の現場でいかしてもらえそうなイメージを持ってもらうことができたのではと思う。

2 アンケート結果に対する見解

普段あまりかかわることのない分野の話なので、自身にうまく反映させてもらえることのできたもの、できなかったものにわかるのかなと思った。もっと詳しく知りたい、資料が欲しいと思う学生が増えたように思うので、来年の授業の参考にしていきたいと思う。日常に沿った内容になっているので、そのあたりは非常に良かったのではないかなと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 専門ゼミナール **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1635 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 22.2%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった 11.1%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.56		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 88.9%	注意 していた -	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.56		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.78		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	3	4.22		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 水野 尚美 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 認知症の理解 I **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1515 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 20名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	19	-	-	1	16	-	-	-	-	4

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.15		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 45.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 30.0%	30分 程度 45.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答 5.0%	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.45		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 40.0%	適切 であった 45.0%	やや 低かった 5.0%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.26		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 45.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.35		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.25		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.80		■				

1 授業改善の工夫

認知症の方を介護していくにあたって、そもそも私たちの生活がどのように成り立っているのかを医学的視点からとらえながら認知症を理解していくように授業展開をおこなった。

2 アンケート結果に対する見解

認知症という言葉とイメージから考えると、どうしても生活場面が大きくクローズアップされるため、医学的視点からの授業展開は、学生にとって難しいと意識させる授業だったと思われる。昨年と同様に映像資料を多く取り入れたが、それでも専門用語を詳細に確認する時間をとることができず、それが、自由記述にあらわれていたと考える。それでも⑩が、全体平均より下回っていたのは、毎回授業後におこなったリアクションペーパーの記述や、毎回課題を提示しなかったが②、③が高かったことから、⑩の全体平均を大きく上回る結果があったからと考える。リアクションペーパーからも、学生自身が必要と感じ、分からないことを解決したいと考えていることが伺えた。今後は、ノートをとることが目的ではないと伝えられる授業展開を考えたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 吉田 裕司 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 発達と老化の理解 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1505 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 21名 **回答者数** : 20名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	20	-	-	-	20	-	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.20		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 40.0%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 15.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.25		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 40.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.30		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 15.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意し てい なかった 10.0%	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.05		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.80		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.40		■				

1 授業改善の工夫

教科書、スライド、プリントに加え、学期の途中からホワイト(W)ボードや模型を用いた説明を入れた。これはプロジェクター故障による教室変更で、たまたまWボードや模型が使用可能になったためだが、授業のアクセントになり効果的と思われた。練習問題は国試問題と記述(一題)のセットで毎回出題し、理解の向上に役立てた。記述問題については、解答例を提示し各自の参考にしてもらうように工夫した。講義にはマイクを用い、欠席者にはプリントを配布する等の配慮をした。

2 アンケート結果に対する見解

授業の雰囲気は良く、私語はほとんどなかった。居眠りは見られた。授業後の勉強時間も平均を大きく上回り、学生の意欲・努力が感じられた。授業レベルは半数が「やや高い・非常に高い」の回答であった。国試の内容を中心に解説しているが、専門用語の多さや、説明の難解さの指摘を受ける。講義の至らなさを学生の授業後勉強等の努力でカバーしてもらっているのが現状で、これを少しでも改善できるよう伝え方を工夫していきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 潮谷 光人 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 福祉行財政と福祉計画 **科目群** : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目
授業コード : 1720 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
		1	2	3	4	5		
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 -	60分程度 16.7%	30分程度 16.7%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 -	60分程度 16.7%	30分程度 33.3%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.33	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 16.7%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.50	■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 街 勝憲 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 運動生理学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2130 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 35名 **回答者数** : 32名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	2	30	-	-	-	32	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.13		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 3.1%	60分 程度 12.5%	30分 程度 37.5%	ほとんど していない 46.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 9.4%	60分 程度 15.6%	30分 程度 34.4%	ほとんど していない 40.6%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.06		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 9.4%	やや 高かった 53.1%	適切 であった 34.4%	やや 低かった 3.1%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.94		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 34.4%	注意 していた 18.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.4%	全く 注意して いなかった 6.3%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.94		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.88		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.88		■				

1 授業改善の工夫

30名程度の人数に対して、講義教室が広がったこともあり、席をあらかじめ設定しておくなどして、なるべく教卓の近くに座らせた方が、講義に集中させることができたかもしれない。レポート提出の頻度を高くすることで、予習・復習をせざるを得ない状況にし、馴染みのないであろう運動に関する知識を少しでも多く習得させるよう配慮した。しかし、実際に提出されたレポートの内容は、理解不足のものが多かったため、課題の内容をもう少し具体的にする必要があったかもしれない。

2 アンケート結果に対する見解

配布資料の文字や図表については、講義スライドと同じものを使用していたため、見にくい箇所があったところは、配布資料として適切でなかったと思う。配布用に配慮して作成すればよかったと思う。しかし、可能であればノートに書き写すなどの努力を促せばよかったのではないかと思う。浅く広くしりたかったということに対しては、浅く広く講義しつつ、ポイント毎に掘り下げた講義内容にしていたので、恐らく進行の仕方が悪かったため、講義中に飽きさせてしまったのかもしれない。進行の仕方を工夫する必要があると感じた。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 栄養指導論実習 I **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2210 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 39名 **回答者数** : 37名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	37	-	-	-	-	37	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.30		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.08		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.84		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.00		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.89		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30		■				

1 授業改善の工夫

全員の理解度を確認するため、2回に1回は書き込み式のテキストを提出させ、教員がチェックを行った。また、理解できていない学生は個別に呼び出し、指導を行い、理解の定着を図った。

2 アンケート結果に対する見解

前期の栄養指導論を受けての実習であったので、授業の目的は良く理解できていた。2回生の給食管理実習につなげる内容を書き込み式のテキストを使用しながら進めた。仕上がりのスピードに個人差があり、遅い学生に合わせて行った授業の際に退屈した学生が出たようである。次回からは、仕上がりの早い学生を退屈させないように、アドバンスの課題を設定することも検討したい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 応用栄養学実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2180 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 36名 **回答者数** : 30名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	3	27	-	-	-	29	1	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.40		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 10.0%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 10.0%	60分 程度 16.7%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.72		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.7%	やや 高かった 16.7%	適切 であった 76.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.47		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 53.3%	ある程度 注意 していた 6.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.47		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.27		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.60		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 島村 知歩 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 給食実務論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2225 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 40名 **回答者数** : 36名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	35	1	-	-	-	36	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.36		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.8%	60分 程度 16.7%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 72.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 8.3%	60分 程度 19.4%	30分 程度 30.6%	ほとんど していない 41.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.36		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 8.3%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 38.9%	やや 低かった 2.8%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.25		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 13.9%	注意 していた 75.0%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.11		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.08		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.56		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 高尾 理樹夫 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 公衆衛生学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2105 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 49名 **回答者数** : 43名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	43	-	-	-	2	41	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.19		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 4.7%	60分 程度 7.0%	30分 程度 11.6%	ほとんど していない	無回答 76.7%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.3%	60分 程度 11.6%	30分 程度 16.3%	ほとんど していない	無回答 69.8%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.19		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.3%	やや 高かった 16.3%	適切 であった 74.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.02		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 11.6%	注意 していた 76.7%	ある程度 注意 していた 11.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.98		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.98		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.21		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 武田 千幸 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 社会福祉概論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2110 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 46名 **回答者数** : 45名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	43	2	-	-	-	44	-	-	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.04		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.2%	60分 程度 4.4%	30分 程度 4.4%	ほとんど していない	88.9%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.2%	60分 程度 4.4%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない	84.4%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.13		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 4.4%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 57.8%	やや 低かった 2.2%	非常に 低かった -	無回答 2.2%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.16		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 53.3%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった 4.4%	全く 注意して いなかった -	無回答 2.2%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.00		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.89		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.11		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品加工実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2425 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 18名 **回答者数** : 18名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	13	-	-	-	13	5	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 11.1%	60分 程度 11.1%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 55.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 16.7%	60分 程度 22.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 22.2%	適切 であった 72.2%	やや 低かった 5.6%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.61		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 61.1%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.50		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.28		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.71		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品材料学(加工学を含む) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2150 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 52名 **回答者数** : 47名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	45	1	-	1	2	42	2	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.02		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 6.4%	60分 程度 6.4%	30分 程度 19.1%	ほとんど していない	無回答 68.1%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.1%	60分 程度 12.8%	30分 程度 31.9%	ほとんど していない	無回答 53.2%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.28		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 6.4%	やや 高かった 29.8%	適切 であった 61.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 2.1%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.13		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 27.7%	注意 していた 40.4%	ある程度 注意 していた 29.8%	あまり 注意し ていなかった 2.1%	全く 注意し ていなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.06		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.32		■ ◆				

1 授業改善の工夫

・上記のことから、1回目の授業で前期の復習になるような内容を入れながら、後期の授業につなげる必要があると考える。
 ・パワーポイントを用いて教科書の内容のまとめを示す形で授業を進めているが、理解をスムーズにするためには事前学習で該当箇所を事前に学習させることが必要である。口頭で次回の予告と食品成分を調べる課題プリントを配付しているが、教科書ページを具体的に告げて予習する必要性をしっかりと伝える。

2 アンケート結果に対する見解

栄養士免許必修科目である。今年度は栄養士1回生のほか、食の6次産業化プロデューサーを目指すビジネスキャリアコースの学生に加え、交換留学生、資格取得を目指さない生活福祉コースの学生が履修することで、50名を超える授業となった。栄養士コースのカリキュラムは前期に食品科学を履修した上での授業となるが、他コース学生は履修していないため、内容を理解することが困難な部分もあると考える。また栄養士コースの学生も理解度に差がある。また、コース外の学生の中には教科書を購入していない人もあった。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 池内 ますみ **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食品の官能評価・鑑別論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2415 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	9	-	-	-	8	1	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.44		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 22.2%	やや 高かった 44.4%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.56		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 44.4%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.50		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 食料経済 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2400 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 38名 **回答者数** : 27名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	27	-	-	-	2	25	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.11		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 22.2%	90分 程度 7.4%	60分 程度 11.1%	30分 程度 14.8%	ほとんど していない 44.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 25.9%	90分 程度 11.1%	60分 程度 22.2%	30分 程度 14.8%	ほとんど していない 25.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.93		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.8%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 48.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 3.7%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.59		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 25.9%	注意 していた 48.1%	ある程度 注意 していた 14.8%	あまり 注意して いなかった 7.4%	全く 注意して いなかった -	無回答 3.7%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.74		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.70		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.85		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 毛受 真由美 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 人体の構造と機能Ⅱ **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2120 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 46名 **回答者数** : 41名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	40	1	-	-	-	41	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.39		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 2.4%	90分 程度 -	60分 程度 9.8%	30分 程度 31.7%	ほとんど していない 56.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.9%	90分 程度 2.4%	60分 程度 14.6%	30分 程度 34.1%	ほとんど していない 43.9%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.34		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 17.1%	やや 高かった 36.6%	適切 であった 43.9%	やや 低かった 2.4%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.27		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 22.0%	注意 していた 63.4%	ある程度 注意 していた 14.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.37		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.05		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.27		■ ◆				

1 授業改善の工夫

プリント教材の改善、活用法の指導を行う。

2 アンケート結果に対する見解

難解に感じる学生がいる一方で、物足りなさを感じた学生もいたようだ。多くの学生に興味をもって取り組んでもらえるよう、教材の工夫等取り組みたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 三浦 さつき **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生化学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2135 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 39名 **回答者数** : 37名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	37	-	-	-	-	36	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.03		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 2.7%	90分 程度 5.4%	60分 程度 8.1%	30分 程度 32.4%	ほとんど していない 51.4%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.4%	90分 程度 5.4%	60分 程度 10.8%	30分 程度 27.0%	ほとんど していない 51.4%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.89		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 40.5%	やや 高かった 43.2%	適切 であった 16.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.32		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 8.1%	注意 していた 70.3%	ある程度 注意 していた 21.6%	あまり 注意し ていな かった -	全く 注意し ていな かった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.27		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.49		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.76		■ ◆				

1 授業改善の工夫

生化学は、栄養に関わる生物・化学関連の用語がいろいろ出てきて、代謝の仕組みを理解するのも難しい。そのため、授業ではスライドを使って説明し、毎回書き込み式のプリントを配布して、図表の重要語句を確認しながら進めた。確認テストで自己採点して間違いを直し、さらに課題レポートとして、問題文と解答を合わせて写すように指示したことで、何度も重要語句を書きながら覚えられるように工夫している。

2 アンケート結果に対する見解

多くの項目で平均を下回っており、次年度は理解度への配慮等を念頭におきながら、授業を進めていきたい。ただし、学生の半数以上が予習・復習をほとんどしていないという結果も出ており、この科目では授業を集中して受講することと合わせて、授業以外での学習についても必須であることを積極的に働きかけていくことで、学生の理解が深まっていくことを期待している。スライドについては、なるべく大きいフォントを使うように心がけていたが、スライドの見にくさについての指摘もあり、今後はさらに見やすくできるように改善していきたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生化学実験 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2140ab **授業形態** : 実習 **受講者数** : 41名 **回答者数** : 39名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	39	-	-	-	-	38	-	-	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 23.1%	90分 程度 2.6%	60分 程度 2.6%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 56.4%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 64.1%	90分 程度 10.3%	60分 程度 7.7%	30分 程度 5.1%	ほとんど していない 12.8%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.23		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.5%	やや 高かった 53.8%	適切 であった 25.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 12.8%	注意 していた 59.0%	ある程度 注意 していた 25.6%	あまり 注意して いなかった 2.6%	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.92		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.82		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.56		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 三浦 さつき **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 生理学実習 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2125 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 27名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	27	-	-	-	27	-	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.7%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 74.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.7%	30分 程度 29.6%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.48		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 18.5%	やや 高かった 22.2%	適切 であった 59.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.44		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 11.1%	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 18.5%	あまり 注意して いなかった 3.7%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.22		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.30		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 野間 智子 **職名** : 准教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナールⅡ (食物栄養) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 3925 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 30名 **回答者数** : 17名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	17	-	-	-	17	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.35		[Progress bar]				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 -	90分程度 5.9%	60分程度 11.8%	30分程度 5.9%	ほとんど していない 76.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 -	90分程度 5.9%	60分程度 11.8%	30分程度 11.8%	ほとんど していない 70.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.41		[Progress bar]				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 11.8%	やや 高かった 17.6%	適切 であった 70.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.59		[Progress bar]				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 47.1%	注意 していた 35.3%	ある程度 注意 していた 17.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.59		[Progress bar]				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.18		[Progress bar]				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.41		[Progress bar]				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 箕山 なおみ **職名** : 助教 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 専門調理(製菓実習) **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2301 **授業形態** : 実習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 6名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	6	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	50.0%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 50.0%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	33.3%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.67		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	5.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.83		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.83		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 伊藤 知子 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : フードコーディネート論 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2420 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 16名 **回答者数** : 12名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	4	8	-	-	-	10	2	-	-	-

評価項目		教員 の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
					1	2	3	4	5	
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33		◆					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -		
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 8.3%	60分 程度 8.3%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -		
授 業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		◆					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.3%	やや 高かった 41.7%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -		
授 業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.42		◆					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -		
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.27		◆					
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		◆					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.42		◆					

1 授業改善の工夫

食器・食具、テーブルコーディネートなどについて、イメージしやすくするため、写真を多く取り入れたパワーポイントを作成した。フードサービスマネジメントの収支計画については、時間をかけて教科書の演習問題をやることにより、理解を促した。授業記録シートを作成し、その日の授業内容について短時間ではあるが、ふりかえりができるようなシステムとした。

2 アンケート結果に対する見解

設問⑨について、新しい知識や技術を得ることと同時に、これまで得た知識や経験を統合して考えられるようになることをねらいとしたが、不十分であったように思われる。次年度は、ねらいについても十分に説明し、授業を進めていきたいと考える。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 毛受 真由美 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 臨床栄養学 **科目群** : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目
授業コード : 2185 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 38名 **回答者数** : 33名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	28	-	-	-	33	-	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.21		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 6.1%	60分 程度 3.0%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 57.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 6.1%	60分 程度 3.0%	30分 程度 36.4%	ほとんど していない 54.5%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.52		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 15.2%	やや 高かった 30.3%	適切 であった 54.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.55		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 42.4%	注意 していた 30.3%	ある程度 注意 していた 27.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.27		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.55		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 加来 慎太郎 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : イラスト・画像処理 I **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3235 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 3名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 33.3%	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.67		■				

1 授業改善の工夫

課題の進み方が生徒によって違うため、もっとバランスよく授業を進めていきたいと思う。その為に、得意な事・不得意な事など生徒個々の能力をさらに見極めていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

ある程度この授業を理解し、楽しんでもらったのではと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 吉村 司 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : オフィス実務演習Ⅱ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3192 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	6	-	-	-	-	5	1	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.67		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 83.3%	ほとんど していない 16.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 83.3%	ほとんど していない 16.7%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.33		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 50.0%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 16.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17		■ ◇				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.83		■ ◇				

1 授業改善の工夫

後期はロール・プレイングやワークショップを増やして、オフィス実務上起こりえる様々な課題・問題をテーマに取り上げ、学生間で議論し、自分たちで考え、気づき、解を決めていく演習を行った。さらに講義・解説においても、テーマ=授業で行ったことがビジネス現場や実社会の仕組み、配慮、最低限必要な知識、緊急・想定外な対応法、繰り返し・緩和の言葉など出来る限り、オフィス実務の現場で活用出来るよう説明を加えた。

2 アンケート結果に対する見解

50%の学生が授業レベルについて「非常に高かった」と回答し「やや高かった」を加えると83.3%が「難しい授業」の印象であったと推察。総合評価前期比においても「⑨問題意識・関心」87.5%→83.4%と微減とは言え授業内容や目的において理解が難しくなった学生が出て予復習の時間も前期比で減少した。一方「教員の説明の仕方」が「分かりやすかった」が37.5%→50.0%に増加し、授業での説明・解説が功を奏した。来期は解説スライドを増やすなど授業理解を高め、さらに授業後レポートを増やして学習時間の確保に努めたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中村 妙子 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : カラーコーディネート演習 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3430 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 28名 **回答者数** : 26名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	26	-	-	-	-	23	3	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.12		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 19.2%	90分 程度 3.8%	60分 程度 7.7%	30分 程度 7.7%	ほとんど していない 61.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 26.9%	90分 程度 7.7%	60分 程度 3.8%	30分 程度 19.2%	ほとんど していない 42.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.92		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 19.2%	やや 高かった 46.2%	適切 であった 30.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 3.8%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.73		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 19.2%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 23.1%	あまり 注意して いなかった 3.8%	全く 注意して いなかった -	無回答 3.8%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.81		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.85		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 経営学総論 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3150 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 28名 **回答者数** : 25名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	25	-	-	-	21	-	4	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.92		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 8.0%	90分 程度 8.0%	60分 程度 4.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 4.0%	90分 程度 4.0%	60分 程度 8.0%	30分 程度 24.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.96		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.0%	やや 高かった 32.0%	適切 であった 48.0%	やや 低かった -	非常に 低かった 4.0%	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.84		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 16.0%	ある程度 注意 していた 28.0%	あまり 注意して いなかった 8.0%	全く 注意して いなかった 8.0%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.80		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.58		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.72		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 谷村 真理 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 経理実務Ⅱ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3170 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	1	-	-	-	-	4	-	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.17		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.17		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67		■				

1 授業改善の工夫

・学生の興味や理解度に合わせて、適宜練習問題を取り入れ知識の定着をはかった。また、毎回ワークを取り入れ、自主性の育成にも配慮した。
 ・既学者(商業高校出身など)とそうでない者、学力差から理解度には大きな差が生じたため、レベルにあわせて個別に課題を課すなど、きめ細やかな配慮を工夫した。
 ・今後の改善点としては、将来どのような仕事に就いても活用できるようなベースとなる知識の習得を、サポートしていくべきと思料する。
 ・また、資格試験受験を目指す学生に関しては、個別対応にて習熟をはかるなどの対応ができれば望ましい。

2 アンケート結果に対する見解

・概ね、納得のいく評価であった。既学者と初心者で、理解度や達成度、満足度に差がでていたものの、総じてモチベーションが高い学生が多く、吸収力も高かった。
 ・仕訳などの複式簿記の基本については、概ね理解できたと思う。テストの成績も、ばらつきはあるものの、ほぼ想像通りのものであった。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 上田 利博 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ゼミナールⅡ (ビジネスキャリア) **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3920 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
				■ 学生の評価平均				
				1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.40	■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 - 90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど して いない 60.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課して いない	120分 以上 - 90分 程度 20.0%	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど して いない 40.0%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.40	■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高か った 20.0%	やや 高か った -	適切 であ った 80.0%	やや 低か った -	非常に 低か った -	無回答 -
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60	■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意す る必 要は な か つ た	注意す る必 要は な か つ た 40.0%	注 意 し て い た 40.0%	あ る 程 度 注 意 し て い た 20.0%	あ ま り 注 意 し て い な か つ た -	全 く 注 意 し て い な か つ た -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60	■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.20	■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.40	■ ◆				

1 授業改善の工夫

今回の学生の授業の取り組み姿勢は、全体的に予習不足があったものの、参加意欲や平均的な授業の理解度は高く、自分の知識として蓄積されたと思われる。全体のアンケートから、事前の勉強時間が平均より少し短く、事前課題の指示の仕方が不十分であったと思われる。これらを踏まえて、今後は今年の進め方を継続するものの、事前課題等の指示を明確にし、効果的な授業を実施したいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

この授業は担当教員が2名の授業であった。担当により授業内容が異なったものの、学生のアンケートへの回答は結果の項目については大きなバラつきはなかったのではないかとと思われる。学生主体の授業に心がけ、課題に対する発表を組み込んでいたので、学生の理解度も高まったと思われる。しかし事前・事後の勉強時間についてはバラついており、特に「ほとんどしていない」という学生がいるので今後の参考にしたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 戸田 信聡 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 卒業研究Ⅱ **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3952 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 7名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コ ー ス	食物栄養 コ ー ス	ビジネス キャリ ア コ ー ス			
	-	6	-	-	-	-	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.00		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 66.7%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 33.3%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない -	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	2.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった 16.7%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった 16.7%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた -	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意し てい なかつ た 16.7%	全く 注意し てい なかつ た 33.3%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	2.83		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	2.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	2.50		■				

1 授業改善の工夫

卒業研究の意義について、更に説明を多くしていきたいと思います。また個別フォローも更に加えていきたいと思います。

2 アンケート結果に対する見解

ビジネスキャリアコースの卒業研究は必修ではありませんが、ビジネスキャリアコース短期大学士の学位の水準で、課題設定、根拠(アンケート調査orインタビュー調査)、考察(主張・提案)といったビジネスの卒業論文として、最低限のプロセスを踏んだものでなければならないようにしています。実際に会社に入社してみると、思いっぴきだけのビジネス提案が簡単に評価・採用されることはなかなかありません。自分で研究課題を考え、調べたデータに基づいてアイデアを形にし、自分なりに説得力をつけてまとめないとはいけません。今年の2回生は基礎知識のない状態で、大変だったと思います。特に今まで自分で考えること、書くことをして来なかった何人かの学生は戸惑ったかもしれません。しかし、今回就職活動をしっかりして各企業に進路を決めて卒業していく学生たちは、会社に入社してからも必要な能力ということに気づき、研究の進め方がわかってくと、最後には高いモチベーションで取り組んで卒論提出・発表をしてくれました。来年も学生のモチベーションを考えながら粘り強く指導していきたいと思っています。ただ、授業の初期段階では、卒業研究で必要とされる要素と、会社で必要とされる能力との関係、卒業研究の意義についての説明を多くしていきたいと思います。また考えるのが苦手なタイプの学生が何人かいますので個別フォローも多くしていきたいともいます。更に、仕上げ段階、発表練習の大変な段階については、ビジネスキャリアコースの先生で分担して励まし、個別指導を多くしていきたいと考えます。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 坊 安恵 **職名** : 講師 **所属** : 生活未来科
科目名称 : 地域活性化論 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3310 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	3	5	-	-	-	2	6	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.88		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 12.5%	60分 程度 25.0%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.88		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 37.5%	やや 高かった 12.5%	適切 であった 37.5%	やや 低かった 12.5%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.13		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 12.5%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった 12.5%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.13		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.38		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.50		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍 **職名** : 教授 **所属** : 生活未来科
科目名称 : データベース **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3220 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	4	-	-	-	-	4	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.50		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	3.50		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.25		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.75		■ ◇				
総合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	2.50		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.00		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 吉村 司 **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ビジネス文書 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3134 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 80.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった -	適切 であった 80.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.60		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.60		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍
 職名 : 教授
 所属 : 生活未来科
 科目名称 : ホームページ作成
 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
 授業コード : 3230
 授業形態 : 演習
 受講者数 : 9名
 回答者数 : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	3	5	-	-	-	3	5	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.75		■ ◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 37.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.25		■ ◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 37.5%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 25.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.63		■ ◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 75.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.25		■ ◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.50		■ ◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.63		■ ◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 碓 ともみ **職名** : 非常勤 **所属** : 生活未来科
科目名称 : ホスピタリティ論 **科目群** : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目
授業コード : 3311 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 8名 **回答者数** : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学 科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	7	-	-	-	-	2	5	-	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.14		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 57.1%	60分 程度 -	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 14.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 14.3%	90分 程度 28.6%	60分 程度 -	30分 程度 42.9%	ほとんど していない 14.3%	無回答 -	
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.86		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.3%	やや 高かった 14.3%	適切 であった 71.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.86		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 57.1%	注意 していた 42.9%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.86		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.43		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.86		■				

1 授業改善の工夫

ホスピタリティを知るために、ホテル業界、テーマパーク、エアライン等馴染みがある題材を取り上げた。また、日本の伝統的なイベントや海外のおもてなしにも目を向けるようにパワーポイント資料を使用して全員参加型授業体系（アクティブラーニング）を実施した。

2 アンケート結果に対する見解

身近な題材から「自分だったらどう対処しておくか」など常に考えることができたと感じている。また、中間・期末のレポートに関して、書き方を統一化して、それを踏まえて自分が調べたことを必ずプレゼンテーションを実施するようにしたので、有意義な授業を展開できたと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 安田 寛 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53035 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	9	-	-	-	-	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.11		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	3.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった 22.2%	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.22		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった 11.1%	全く 注意して いなかった 11.1%	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.33		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	3.44		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 吉田 直子 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 音楽基礎演習Ⅱ(ソルフェージュ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 55410bb・bc 授業形態 : 演習 受講者数 : 55名 回答者数 : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	49	-	-	-	-	-	-	48	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
			1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.49	■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 14.3%	90分 程度 6.1%	60分 程度 24.5%	30分 程度 34.7%	ほとんど していない 20.4%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 16.3%	90分 程度 8.2%	60分 程度 24.5%	30分 程度 32.7%	ほとんど していない 18.4%	無回答 -
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.61	■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 4.1%	やや 高かった 38.8%	適切 であった 53.1%	やや 低かった 2.0%	非常に 低かった 2.0%	無回答 -
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.35	■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.5%	注意 していた 44.9%	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった 2.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.22	■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.39	■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.71	■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中島 倍代 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽基礎演習Ⅱ(理論) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55410aa・ad・ba・bd **授業形態** : 演習 **受講者数** : 55名 **回答者数** : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	49	-	-	-	-	-	-	49	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.35		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 8.2%	90分 程度 -	60分 程度 10.2%	30分 程度 34.7%	ほとんど していない	無回答 46.9%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 8.2%	90分 程度 -	60分 程度 10.2%	30分 程度 34.7%	ほとんど していない	無回答 46.9%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.55		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.3%	やや 高かった 30.6%	適切 であった 51.0%	やや 低かった 2.0%	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.43		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 38.8%	注意 していた 30.6%	ある程度 注意 していた 26.5%	あまり 注意して いなかった 2.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 2.0%	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.53		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.33		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67		■				

1 授業改善の工夫

今年度も色々してみた。毎回、ノート提出、添削、やり直し、提出。ノートに書くという実習、リズム打ちや視唱など身体を使っの実習。その結果、次年度は 色々なアプローチを徹底しようと思う。

2 アンケート結果に対する見解

授業をよく理解している人、あまり理解出来ていない人、こちらがした質問に答える人、理解出来ていなくても意思表示をしない人など 様々なタイプの人がある。全員が充分理解するのは難しい。自由記述欄を読んで今以上に もっと個人個人にアプローチを細やかにしないといけないと感じている。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 奥田 尚子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305bb **授業形態** : 演習 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	4	-	-	-	-	-	-	4	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.75		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 75.0%	ほとんど していない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 75.0%	ほとんど していない 25.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 25.0%	適切 であった 75.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.75		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.75		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.75		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 玉井 奈摘 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305ad*cc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 12名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	12	-	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価							
		学生の評価平均		学生の評価平均							
		1	2	3	4	5					
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33	[Progress bar]					◇		
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 41.7% 90分程度 8.3%	60分程度 16.7%	30分程度 25.0%	ほとんどしていない 8.3%	無回答 -				
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 41.7% 90分程度 8.3%	60分程度 16.7%	30分程度 25.0%	ほとんどしていない 8.3%	無回答 -				
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.92	[Progress bar]					◇		
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 16.7% やや高かった 25.0%	適切であった 58.3%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -				
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.83	[Progress bar]					◇		
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった 58.3% 注意していた 25.0%	ある程度注意していた 8.3%	あまり注意していませんでした 8.3%	全く注意していませんでした -	無回答 -				
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.75	[Progress bar]					◇		
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.75	[Progress bar]					◇		
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00	[Progress bar]					◇		

1 授業改善の工夫

前半は音楽Ⅰからの続きということもあり読譜が出来ているかの確認から入ったが、理解度に個人差があり、拍子とリズム・音符の高さと鍵盤の位置等、新しい課題へと進めながら丁寧に復習した。後半は発表会に向けて「表現すること」に重点を置いて指導した。強弱の幅や店舗の正確性等は自身では気づき難い為、録音するなどして客観的に自分の演奏をじっくりと聴いてもらう時間を持ちたい。

2 アンケート結果に対する見解

① ⑦個人レッスンの為、私語や居眠りはなかったが、遅刻・楽譜忘れ・爪が伸びている(マニキュア含む)決まった学生に何度か見られ、注意していた。多くの学生は問題なかった。② ③大半の学生が前回のレッスンで注意したところをきちんと直したり、課題達成のために練習をしていた。いつも同じ学生が予習・復習をしないこともあり、レッスン内で練習・次の課題曲の譜読みを一緒に行う状態で少ない時間の中で困難な状況であった。この点については今後も粘り強く指導していきたい。⑤音楽Ⅱはグレード3から(バイエル60番以上)となる為、初心者がこの辺りで更に難しくなったと感じることが多い様に思うが、個人的にはそれまでの課題を理解し、練習していれば適切であると感じている。⑦全15回のレッスン(発表会を除けば14回)で、大体何回目のレッスンではどの曲を合格していないと困難な状況になるかを考えず、計画性のない学生が少なからずいる。ゆとりのあるレッスンができるよう指導していきたい。⑩一人当たりのレッスン時間は決められており延長することはできないが、もう少しレッスン時間が長ければという声はよく聞かれた。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中島 倍代 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305aa・be・cd **授業形態** : 演習 **受講者数** : 17名 **回答者数** : 17名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	16	1	-	-	-	-	-	16	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.41		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 5.9%	90分 程度 -	60分 程度 29.4%	30分 程度 41.2%	ほとんど していない 23.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 5.9%	90分 程度 5.9%	60分 程度 23.5%	30分 程度 41.2%	ほとんど していない 23.5%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.65		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 23.5%	やや 高かった 17.6%	適切 であった 58.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	5.00		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 82.4%	注意 していた 17.6%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.88		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.59		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.65		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 本間 晶子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305ab・ce **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	12	-	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.58		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 8.3%	60分 程度 41.7%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 8.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 8.3%	60分 程度 41.7%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 16.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.50		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 25.0%	適切 であった 58.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.42		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた 8.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.58		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.50		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.75		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 宮田 眞理 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305bd・cb **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	9	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.40		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.40		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.40		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30		■				

1 授業改善の工夫

ピアノは予習、復習ができていないとなかなか課題の達成は難しい。少しでも予習がしやすくなるように譜読みや演奏のポイント等を的確に指導したい。時間の経過と共に、個々の学生の課題に取り組む姿勢にばらつきが出てくるので、常に学生が前向きに取り組めるよう気を配りたい。

2 アンケート結果に対する見解

アンケートでは課した宿題の予習・復習時間をいつも重視しているが、なかなか期待している時間には達していない。自発的にピアノ練習に取り組めるよう、授業の工夫をしたいと思う。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 山下 玲子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305ac*bc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 11名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	1	-	-	-	10	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.36		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 18.2%	90分 程度 9.1%	60分 程度 27.3%	30分 程度 45.5%	ほとんど していない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 18.2%	90分 程度 18.2%	60分 程度 18.2%	30分 程度 36.4%	ほとんど していない 9.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.27		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 9.1%	やや 高かった 27.3%	適切 であった 63.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.73		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 45.5%	注意 していた 36.4%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.73		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.45		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.82		■ ◆				

1 授業改善の工夫

ピアノの演奏技術の向上のために必要な事前事後の練習時間を十分に取って、学生が意欲を持ち取り組んでいくように指導していきたい。次の授業までの目標をより具体的に示し、努力したことへの達成感を得られるように工夫する。家庭での事前事後レッスンの環境は、学生一人一人異なるのでそれに応じた効果的なアドバイスをしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

今回の「学生による授業アンケート」の結果は、これまでに比べて一週間あたりの事前事後のレッスン時間が全体に短くなっている。演奏技術の向上は、授業でのレッスンに向けて日々練習を積み重ねることによるものが大きい。総合的には、学生は関心が高くなり自分の将来に役立つと考えたようなので、さらに日々の練習時間を取って演奏技術を向上させていくように授業内容を考えたい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 吉田 直子 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55305ba・ca **授業形態** : 演習 **受講者数** : 11名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.70		[Progress bar showing 4.70]				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 30.0%	90分 程度 30.0%	60分 程度 10.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない 10.0%	無 回 答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 30.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど して いない -	無 回 答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.80		[Progress bar showing 4.80]				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高 か っ た	非常 に 高 か っ た 10.0%	やや 高 か っ た 20.0%	適 切 で あ っ た 70.0%	やや 低 か っ た -	非常 に 低 か っ た -	無 回 答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.40		[Progress bar showing 4.40]				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は な か っ た	注意 する 必要 は な か っ た 50.0%	注 意 し て い た 30.0%	あ る 程 度 注 意 し て い た 20.0%	あ ま り 注 意 し て い な か っ た -	全 く 注 意 し て い な か っ た -	無 回 答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.70		[Progress bar showing 4.70]				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.60		[Progress bar showing 4.60]				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.80		[Progress bar showing 4.80]				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 玉井 奈摘 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅳ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55325a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.75		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 75.0%	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 -	ほとんど して いない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 75.0%	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 -	ほとんど して いない -	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 25.0%	やや 高かった 25.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	5.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかつた 75.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	5.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 本間 晶子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽IV **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55325ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 5名 **回答者数** : 4名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.75		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 50.0%	90分程度 25.0%	60分程度 25.0%	30分程度 -	ほとんど していない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分以上 50.0%	90分程度 25.0%	60分程度 25.0%	30分程度 -	ほとんど していない -	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.75		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 25.0%	やや 高かった 25.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意し てい なかつ た -	全く 注意し てい なかつ た -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.75		■ ◆				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.75		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.75		■ ◆				

1 授業改善の工夫

この授業はピアノが好きで上手になりたい、という学生が受講しているケースが多いので、比較的充実した内容となる。ただ、授業も後半時期になると、他の課題で忙しかったり、単位は足りていても要らないから試験は受けないと言い出したり、少々意気の下がる学生も出現した。最後までモチベーションを維持する工夫はないものか。最後のピアノ実技試験に向けて盛り上がるような工夫を考えたい。連弾などのアンサンブルを課題に加えるなども一考かと考える。

2 アンケート結果に対する見解

もともとピアノ実技に積極的な学生が受講しているので、アンケートも程良い結果が出ていると思う。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 官田 眞理 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅳ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55325ad **授業形態** : 演習 **受講者数** : 3名 **回答者数** : 2名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	5.00		◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	5.00		◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	5.00		◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 和田 宏一 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 音楽Ⅳ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 55325ac **授業形態** : 演習 **受講者数** : 6名 **回答者数** : 5名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 60.0%	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない -	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど して いない -	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.20		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 40.0%	やや 高かった -	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかつた 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.80		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.20		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.60		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 家庭支援論 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52201ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 53名 **回答者数** : 40名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	39	-	-	-	-	-	39	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
					1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.25		■					
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 42.5%	90分 程度 12.5%	60分 程度 12.5%	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 22.5%	無回答 -		
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 30.0%	90分 程度 12.5%	60分 程度 12.5%	30分 程度 15.0%	ほとんど していない 30.0%	無回答 -		
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.00		■					
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 25.0%	適切 であった 52.5%	やや 低かった 2.5%	非常に 低かった -	無回答 -		
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	3.90		■					
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 35.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた 35.0%	あまり 注意して いなかった 5.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 -		
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	3.83		■					
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	3.80		■					
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	3.98		■					

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導a **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57103 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 49名 **回答者数** : 48名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	47	-	-	1	-	-	-	47	-	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価					
				■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.56		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 8.3%	90分 程度 6.3%	60分 程度 18.8%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 47.9%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.4%	90分 程度 6.3%	60分 程度 18.8%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 45.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.71		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 22.9%	やや 高かった 20.8%	適切 であった 56.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.65		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 22.9%	注意 していた 60.4%	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.65		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.67		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.81		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 杉山 晋平 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育実習指導(小)b **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57151 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	9	-	-	-	-	-	-	9	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.67		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	5.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.89		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 杉山 晋平 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教育方法の理論と実践 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54101ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 57名 **回答者数** : 53名

回答者 内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	52	-	1	-	-	-	50	-	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.40						
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.7%	90分 程度 3.8%	60分 程度 3.8%	30分 程度 15.1%	ほとんど していない	無回答 71.7%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 5.7%	90分 程度 3.8%	60分 程度 3.8%	30分 程度 18.9%	ほとんど していない	無回答 67.9%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.48						
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 17.0%	やや 高かった 17.0%	適切 であった 66.0%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.73						
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 52.8%	注意 していた 32.1%	ある程度 注意 していた 11.3%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった	無回答	1.9%
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67						
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.40						
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.58						

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 教職実践演習(幼・小) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54301 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 52名 **回答者数** : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	45	2	1	-	-	-	44	2	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.24		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.1%	90分 程度 2.0%	60分 程度 6.1%	30分 程度 4.1%	ほとんど していない 83.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.1%	90分 程度 2.0%	60分 程度 8.2%	30分 程度 6.1%	ほとんど していない 79.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.24		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.2%	やや 高かった 26.5%	適切 であった 61.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.29		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 24.5%	注意 していた 57.1%	ある程度 注意 していた 16.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 2.0%	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.27		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.18		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.43		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 西岡 由郎 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 国語科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53010 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.0%	90分 程度 10.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 10.0%	90分 程度 10.0%	60分 程度 20.0%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 10.0%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった 70.0%	適切 であった 10.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.80		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

初めて経験する専門教科の授業は、戸惑いのあるところである。しかしながら、今日求められている学修内容の水準維持は図られなければならない。今後とも、高等学校までの学習経験を生かすとともに、教科書に掲載されている作品や学習指導案等の具体物を用いたり、質疑応答の時間を確保したり、授業を振り返る時間を設定したりするなどして、分かる授業に努めたい。また、次回に用いる資料を事前に配布し、事前学習の充実を図りたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の受講態度は概ねよく、授業の妨げになるような行為は見られなかった。本学に入学し大学生になったとはいえ、大学での学び方全般について、あるいは特色を有する専門科目への取り組み方についての理解が不十分な学生が見受けられる。授業科目が過密な中、目新しいことが増える一方で、その理解と対応に戸惑っている学生に対する手立てが必要である。そこで、これまで授業の受け方やレポート対策、授業内容のまとめ方などについて指導してきた。引き続き、困り感を有している学生の負担感の軽減につながる助言や支援に努める必要がある。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 須谷 和子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : こどもの食と栄養 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52131ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 57名 **回答者数** : 51名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	50	-	1	-	-	-	48	-	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 7.8%	90分 程度 2.0%	60分 程度 5.9%	30分 程度 5.9%	ほとんど していない	78.4%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 7.8%	90分 程度 2.0%	60分 程度 5.9%	30分 程度 9.8%	ほとんど していない	74.5%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.47		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 21.6%	やや 高かった 25.5%	適切 であった 52.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.35		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 29.4%	注意 していた 52.9%	ある程度 注意 していた 17.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.29		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.20		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.51		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北村 麻樹
 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 在宅保育論
 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 53315 授業形態 : 講義 受講者数 : 17名 回答者数 : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	11	-	-	-	-	-	11	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.45		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.1%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 18.2%	ほとんど していない	無回答 72.7%	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 9.1%	90分 程度 -	60分 程度 9.1%	30分 程度 18.2%	ほとんど していない	無回答 63.6%	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.73		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 27.3%	やや 高かった 9.1%	適切 であった 63.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.55		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 36.4%	注意 していた 45.5%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.45		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.45		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.64		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 重松 敬一 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 算数科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53020 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 8名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 62.5%	ほとんど していない 25.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 37.5%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 25.0%	やや 高かった 50.0%	適切 であった 25.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.88		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 37.5%	注意 していた 37.5%	ある程度 注意 していた 12.5%	あまり 注意し てい なかった 12.5%	全く 注意し てい なかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.88		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.75		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

社会人入学や社会人入学でない学生にとっても、学習方略を十分習得せず、座学や理解・記憶中心の学びの態度が大きいこともあったが、算数科教育の身近な実践に興味・関心と問題意識をもたせ、自ら活動するように講義中に教科書の調べ学習等を課し、学生同士で小学校教員としての意識で物事を考え、議論し、探究したりするなどの具体的な活動を促すように授業の改善を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業者の期待する算数科教育法への学びの達成と学生の実感した学びの内容には、説明の方法や工夫だけでは限界があるようなので、学生の意識できる算数科教育の具体的な状況や課題を手がかりに、具体的な学習内容と、学習方法としての調べ学習や探究学習、受講生同士の対話のある学びの環境作りに一層心がけてきた。それでも、学生の諸活動の多忙さのためか、講義後の自学的な学びの取組の増加にはつながりにくかった。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 瀬戸野 喜雄 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 社会的養護 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 51061ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 75名 **回答者数** : 66名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	65	-	-	1	-	-	-	65	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.05		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 1.5%	60分 程度 6.1%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない	75.8%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 4.5%	30分 程度 15.2%	ほとんど していない	77.3%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.97		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.7%	やや 高かった 36.4%	適切 であった 42.4%	やや 低かった 4.5%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.56		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 16.7%	注意 していた 36.4%	ある程度 注意 していた 34.8%	あまり 注意し ていなかった 10.6%	全く 注意し ていなかった 1.5%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.80		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.62		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.83		■				

1 授業改善の工夫

授業レジメを作成し、前回の授業の振り返り、授業の質問・意見の回答を、授業の前に再度確認している。授業は教科書について説明したあと穴埋めで重要語句を確認している。穴埋めの語句はあえて板書せず、教科書で確認させている。また、授業の終わりに子どもの発達に関わる絵本を朗読して、授業終了後、授業で深まったこと、分からなかったこととともに感想と学びを記載させている。適宜、教科書の関連分野の新聞記事を配布して、幅広い知識の習得に努めている。

2 アンケート結果に対する見解

毎回授業のあとに、「今日の授業で深まったこと、分からなかったこと」の記載をするように要請している。日々学生との意見交換ができていると思っている。出された見解については、授業に対する貴重な意見として受けとめて更に授業改善を工夫していきたい。また、そのことが未来の日本を担う子どもの成長・発達に寄り添う職に就く優秀な人材の育成に繋がることを認識したい。また、講師間の連携も深めて個々の学生の対応もきめ細かく対応したい。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 李 仙恵 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 障害者福祉 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 51020 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	10	-	-	1	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.70		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 30.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 20.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.70		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 30.0%	やや 高かった -	適切 であった 70.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.70		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 30.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.70		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.70		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 安永 龍子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 小児保健B **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52110ab **授業形態** : 講義 **受講者数** : 65名 **回答者数** : 45名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	45	-	-	-	-	-	-	44	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.09		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 15.6%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.49		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.9%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 57.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.22		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 11.1%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 24.4%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.24		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.00		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.33		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 岡田 陽子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 図工科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53040 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.60		◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 10.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 10.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.90		◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 20.0%	適切 であった 70.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.90		◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 70.0%	注意 していた 20.0%	ある程度 注意 していた 10.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.90		◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.90		◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		◇				

1 授業改善の工夫

図工科教育法の指導における大切な事を講義や知識だけを教えるのではなく、実際にまず学生が体験する事で実感させる事がより求められると思った。ただ表現活動するのではなく、クラスの仲間と協力して授業を進める事、対話や全体のディスカッションが大切であった。今後は、指導案や模擬授業づくりをどのように計画し実施するか、教材研究の時間など15回の中で組み立てるか、その工夫が必要である事が分かった。

2 アンケート結果に対する見解

受講者数が10名だったので、学生一人ひとりの発言回数が増え、活気のある授業となった事がアンケートに反映されたのかもしれない。中でも、10名の学生の中でリーダー的存在がクラスのムードや意欲を盛り上げていたように思う。学生の学ぶ意欲や教師志望の熱い意欲のある学生が入学してくれる事、又、入学してからのモチベーションを上げる学生指導を学内全体で取り組む事の大切さを感じた。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 小幡 肇 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 生活科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53030 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	9	-	-	-	-	-	-	9	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.67		◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 11.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 44.4%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	5.00		◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 55.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.89		◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.78		◇				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.78		◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.89		◇				

1 授業改善の工夫

第一に、学生が主体的に取り組むことを目指して、教科書使用頁を予習しワークシートに記入することや、課外で球根を育て、球根に話しかけたことを記録する等の授業を工夫しました。第二に、双六を制作して遊んだり、グループ面接時の方法を取り入れたディスカッションを行ったりして対話的で深い学びを生み出す授業改善に取り組みました。第三に、学生が日常生活で見かける人になりきってロールプレイを行い、表現活動と言語活動を学ぶことができました。

2 アンケート結果に対する見解

学生の高い数値をいただいている背景の一つめは、今年で最後となることへの配慮が大きいかとうかがえます。二つめは、グループワークを多く取り入れ、活動を通して学ぶことが学生の楽しさを生み出したと考えます。逆に、「指導案をしっかりと書きたかった」と指摘があるように、授業計画に指導案作成にかかえる比重が少なかったことは大きな反省材料であると考えます。今後の課題としたいです。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 14名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	10	1	-	-	-	-	-	11	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
				1	2	3	4	5	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.45		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 27.3%	90分程度 -	60分程度 18.2%	30分程度 18.2%	ほとんど していない 36.4%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 27.3%	90分程度 -	60分程度 18.2%	30分程度 18.2%	ほとんど していない 36.4%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.45		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 9.1%	適切 であった 90.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.73		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 36.4%	注意 していた 45.5%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.55		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.55		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.64		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 別所 崇 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (心と発達) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 56100b 授業形態 : 演習 受講者数 : 7名 回答者数 : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 83.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった -	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.50		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 杉山 晋平 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (こども教育) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100f **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	9	-	-	-	-	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.56		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.89		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 55.6%	やや 高かった 44.4%	適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.89		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 77.8%	注意 していた 11.1%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.89		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	5.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : ゼミナール I (自然と遊び) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 56100d **授業形態** : 演習 **受講者数** : 9名 **回答者数** : 6名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.17		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった -	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.67		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.50		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.83		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 大高 千明・杉島 尚徳 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : ゼミナール I (スポーツ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 56100c 授業形態 : 演習 受講者数 : 19名 回答者数 : 15名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	15	-	-	-	-	-	-	15	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.80		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない	80.0%	無回答 -
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない	80.0%	無回答 -
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.73		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった -	やや 高かった 6.7%	適切 であった 93.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	5.00		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 26.7%	あまり 注意して いなかった 6.7%	全く 注意して いなかった	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.93		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.60		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.87		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : <u>杉山 晋平</u>	職名 : <u>講師</u> 所属 : <u>地域こども学科</u>
科目名称 : <u>ゼミナールII</u>	科目群 : <u>地域こども学科 専門教育科目</u>
授業コード : <u>56200a</u> 授業形態 : <u>演習</u>	受講者数 : <u>24名</u> 回答者数 : <u>13名</u>

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス						
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答	
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース				
	13	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.46		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	
			-	-	-	7.7%	92.3%	-	
授業内容	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど課していない	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答	
			-	-	-	7.7%	92.3%	-	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.85		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや高かった	非常に高かった	やや高かった	適切であった	やや低かった	非常に低かった	無回答	
			7.7%	69.2%	23.1%	-	-	-	
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	4.85		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する必要はなかった	注意していた	ある程度注意していた	あまり注意していなかった	全く注意していなかった	無回答	
			69.2%	15.4%	-	-	7.7%	7.7%	
総合評価	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.92		■ ◆				
	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	3	4.54		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.77		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(音楽) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201a **授業形態** : 演習 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	7	-	-	-	-	-	7	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.86		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 28.6%	90分 程度 -	60分 程度 28.6%	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 28.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 28.6%	90分 程度 -	60分 程度 28.6%	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 28.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.86		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 42.9%	やや 高かった -	適切 であった 57.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.57		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 57.1%	注意 していた 42.9%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.86		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.57		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 中田 奈月 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(心と発達) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201b **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 8名

回答者内訳	学年				学科・コース					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども学科	その他	無回答
					生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネスキャリアコース			
	-	8	-	-	-	-	-	8	-	-

評価項目	教員の自己評価	学生の評価平均		◇ 教員の自己評価				
		1	2	3	4	5	学生の評価平均	
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.88	◇				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 - 12.5%	60分程度 - 12.5%	30分程度 12.5%	ほとんどしていません 75.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 90分程度 - 12.5%	60分程度 - 12.5%	30分程度 12.5%	ほとんどしていません 75.0%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	4.25	◇				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切であった	非常に高かった 12.5%	やや高かった -	適切であった 87.5%	やや低かった -	非常に低かった -	無回答 -
授業の進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	4.25	◇				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する必要はなかった	注意する必要はなかった 12.5%	注意していた 37.5%	ある程度注意していた 50.0%	あまり注意していません -	全く注意していません -	無回答 -
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.13	◇				
総合評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.00	◇				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.25	◇				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 古海 忍 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(自然と遊び) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201d **授業形態** : 演習 **受講者数** : 17名 **回答者数** : 12名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	12	-	-	-	-	-	12	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.17		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 8.3%	30分 程度 -	ほとんど していない 75.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 8.3%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 75.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	1	3.83		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 8.3%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった 8.3%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.50		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 大高 千明 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(スポーツ) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.40		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 20.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 20.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	4.80		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 30.0%	やや 高かった 10.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.90		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.80		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.90		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.90		■				

1 授業改善の工夫

70%の学生が事前学習および事後学習をほとんどしていないと回答していたことから、毎回の授業を踏まえた課題や、次週に向けた事前の課題を設定することで、さらに授業内容の理解が深まることが考えられる。また運動遊びのプログラムについては、教員がある程度アイデアを提示した上で、詳細を学生たちが考えているので、学生が考える割合を少しずつ多くしていくことが授業改善に繋がると考える。

2 アンケート結果に対する見解

一年間通して、附属幼稚園の子どもたちに対して運動遊びのプログラムを企画し、実践するという非常に実践的な授業内容であった。学生たちは子どもたちが実際に動く様子をイメージしながら、緊張感を持って毎回のプログラムに挑んでいた。予測能力や臨機応変さなど、保育現場に限らず一つの活動を企画運営する際の実践力を養うことが出来たと考える。アンケート結果から、彼らの保育に対する意識の向上、また実践力の向上を感じている様子が窺える。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 杉島 尚徳 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 総合演習(スポーツ) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 54201c **授業形態** : 演習 **受講者数** : 12名 **回答者数** : 10名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.40		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 20.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分 以上 20.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 70.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.80		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に 高かった 30.0%	やや 高かった 10.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.90		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	-	4.80		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	-	4.90		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	4.90		■				

1 授業改善の工夫

後期は専門的な知識や技術を高めることと、保育者・教員として求められる人間力を高めることを意識して授業を行った。学生の授業態度を観察していると、前期には個々で授業に対するモチベーションの差があり意識の高い学生が全体を引っ張る形であった。そこで誰もがリーダーシップをとれるよう全員が1度は実践場面でのリーダーを務める内容にした。すると個々差はあれど、前期に比べより自主的に発言・行動をしている姿が見られた。

2 アンケート結果に対する見解

授業アンケートを確認したところ、概ねどの評価項目も前期からは向上した。前期のアンケートで気になっていたアンケート評価項目⑨については、授業改善によって向上した部分もあると思う。次年度の授業計画でも引き続き改善を行っていく。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 相談援助演習Ⅱ① 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 53341 授業形態 : 演習 受講者数 : 7名 回答者数 : 7名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.86		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.86		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.14		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.14		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	3	4.29		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 相談援助実習指導③ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 1758・57303 授業形態 : 演習 受講者数 : 3名 回答者数 : 2名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 50.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 50.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 50.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 100.0%	やや 高かった -	適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	5.00		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	5.00		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北澤 太野 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 体育科教育法 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53050 **授業形態** : 講義 **受講者数** : 10名 **回答者数** : 9名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	8	-	-	1	-	-	-	8	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.33		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分以上 33.3%	90分程度 11.1%	60分程度 22.2%	30分程度 11.1%	ほとんど していない 22.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分以上 22.2%	90分程度 -	60分程度 33.3%	30分程度 11.1%	ほとんど していない 33.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.78		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった -	やや 高かった 66.7%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.44		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.44		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.89		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 乳児保育 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53200abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 75名 **回答者数** : 62名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	60	-	-	2	-	-	-	61	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.35		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 -	60分 程度 12.9%	30分 程度 24.2%	ほとんど していない 61.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.6%	90分 程度 1.6%	60分 程度 12.9%	30分 程度 22.6%	ほとんど していない 61.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.55		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 4.8%	やや 高かった 21.0%	適切 であった 74.2%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.65		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 30.6%	注意 していた 43.5%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.53		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.26		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.63		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(環境) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53120ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 77名 **回答者数** : 66名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	65	-	-	1	-	-	-	64	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.29		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 9.1%	30分 程度 31.8%	ほとんど していない 56.1%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 1.5%	60分 程度 10.6%	30分 程度 31.8%	ほとんど していない 56.1%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.53		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.1%	やや 高かった 15.2%	適切 であった 77.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 1.5%	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.59		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 37.9%	ある程度 注意 していた 27.3%	あまり 注意して いなかった 1.5%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.38		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.59		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(言葉) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53130ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 81名 **回答者数** : 68名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	67	-	-	1	1	-	-	67	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.43		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.4%	90分 程度 4.4%	60分 程度 2.9%	30分 程度 22.1%	ほとんど していない 66.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.4%	90分 程度 4.4%	60分 程度 -	30分 程度 29.4%	ほとんど していない 61.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.49		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 8.8%	やや 高かった 17.6%	適切 であった 73.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.63		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 39.7%	注意 していた 42.6%	ある程度 注意 していた 16.2%	あまり 注意して いなかった 1.5%	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.54		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.53		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.76		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 梓川 一 職名 : 准教授 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育実習指導 I a 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 57203 授業形態 : 演習 受講者数 : 66名 回答者数 : 64名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	64	-	-	-	-	-	-	63	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.39		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 6.3%	90分 程度 1.6%	60分 程度 23.4%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 50.0%	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	120分以上	120分 以上 4.7%	90分 程度 1.6%	60分 程度 25.0%	30分 程度 23.4%	ほとんど していない 45.3%	無回答	-
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.69		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 17.2%	やや 高かった 34.4%	適切 であった 48.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.39		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 20.3%	注意 していた 57.8%	ある程度 注意 していた 20.3%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった -	無回答	-
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.25		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.48		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.64		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北村 麻樹・中田 奈月 **職名** : 講師・教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57212 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 32名 **回答者数** : 31名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	31	-	-	-	-	-	30	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.26		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 6.5%	90分 程度 6.5%	60分 程度 -	30分 程度 12.9%	ほとんど していない 74.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 6.5%	90分 程度 6.5%	60分 程度 -	30分 程度 12.9%	ほとんど していない 74.2%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.35		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 12.9%	やや 高かった 19.4%	適切 であった 64.5%	やや 低かった -	非常に 低かった 3.2%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.42		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 16.1%	注意 していた 61.3%	ある程度 注意 していた 19.4%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 3.2%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.32		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.23		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.45		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 梓川 一 **職名** : 准教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育実習指導Ⅲ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 57222 **授業形態** : 演習 **受講者数** : 11名 **回答者数** : 11名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	11	-	-	-	-	-	10	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.55		■ ◆				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 63.6%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 63.6%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.82		■ ◆				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	非常に 高かった 18.2%	やや 高かった 9.1%	適切 であった 54.5%	やや 低かった 18.2%	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.09		■ ◆				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 36.4%	注意 していた 36.4%	ある程度 注意 していた 27.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.64		■ ◆				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	2	3.64		■ ◆				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	3	4.00		■ ◆				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 別所 崇 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育心理学演習 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 52011ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 76名 **回答者数** : 68名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	1	1	-	-	-	66	1	1

評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均					
		1	2	3	4	5			
受講 態 度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.25		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 1.5%	60分 程度 7.4%	30分 程度 29.4%	ほとんど していない	無回答	-
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 1.5%	60分 程度 8.8%	30分 程度 23.5%	ほとんど していない	無回答	-
授業 内 容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.49		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 8.8%	やや 高かった 57.4%	適切 であった 30.9%	やや 低かった 2.9%	非常に 低かった	無回答	-
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.24		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 10.3%	注意 していた 61.8%	ある程度 注意 していた 26.5%	あまり 注意し ていなかった	全く 注意し ていなかった	無回答	1.5%
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.16		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	5	4.12		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.37		■				

1 授業改善の工夫

当該科目は演習科目のため、講義のほかにグループワークを随時取り入れた。グループワーク後には、そこでの学びと考察・質問を記入する用紙(コメントシート)を渡し、受講生本人の振り返りを求めると共に、教員もコメントシートを読むことで、学生の理解度や考察の深淺などについて、把握することができ、自らの講義の振り返りをすることができた。また、昨年度より一層、教科書と補助プリントからなる教材の使い方を研究し、学生にわかりやすい形で提示できた。

2 アンケート結果に対する見解

上記に挙げたことは、質問項目④に学生の意見として反映されているようだ。今後も講義内容にリンクした最新の知見が網羅された補助資料が配布できるようにしていきたい。一方、教員の説明のわかりやすさ(⑥)、教員の学生の理解度の把握(⑧)、学生の問題意識の喚起(⑨)の項目に、全く思わないという回答が2.9%もあった。当該科目は、前期配当の「学習・発達論」の延長上にある科目ゆえ、前期の内容を確実に学生が理解した上で、講義が展開されるため、いわゆる積み上げ残した学生へのケアが今後の課題である。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 別所 崇 職名 : 講師 所属 : 地域こども学科
 科目名称 : 保育相談支援 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目
 授業コード : 53311ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 57名 回答者数 : 54名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	54	-	-	-	-	-	54	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.93		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 3.7%	90分 程度 3.7%	60分 程度 7.4%	30分 程度 13.0%	ほとんど していない 72.2%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 3.7%	90分 程度 1.9%	60分 程度 7.4%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 64.8%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 22.2%	やや 高かった 29.6%	適切 であった 48.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.26		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 18.5%	注意 していた 68.5%	ある程度 注意 していた 13.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.15		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.17		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.44		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 和田 公子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育内容総論 **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53090ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 58名 **回答者数** : 52名

回答者内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	-	50	-	2	-	-	-	50	-	2

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.12		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分以上 5.8%	90分程度 1.9%	60分程度 11.5%	30分程度 19.2%	ほとんど していない 61.5%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	-	120分以上 3.8%	90分程度 1.9%	60分程度 13.5%	30分程度 19.2%	ほとんど していない 61.5%	無回答 -	
授業内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.21		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 13.5%	やや 高かった 19.2%	適切 であった 61.5%	やや 低かった 3.8%	非常に 低かった 1.9%	無回答 -	
授業の 進め方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.10		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 23.1%	注意 していた 51.9%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	3.98		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.29		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 北村 麻樹 **職名** : 講師 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(人間関係) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53110ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 77名 **回答者数** : 66名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	-	-	-	-	-	-	66	-	-

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 3.0%	30分 程度 19.7%	ほとんど していない 77.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 7.6%	30分 程度 24.2%	ほとんど していない 66.7%	無回答 1.5%	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.65		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 1.5%	やや 高かった 12.1%	適切 であった 86.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.68		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 13.6%	注意 していた 62.1%	ある程度 注意 していた 22.7%	あまり 注意し ていなかった 1.5%	全く 注意し ていなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.52		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.27		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.68		■				

1 授業改善の工夫

毎回授業では学生にレジュメを配布し、パワーポイントに映し出された内容を書き写すというように進めている。書き写す内容が多いと時間内に書き写せない学生が出てきてしまい、授業後に、「写せなかったのもう一度見せてください」と言われる事が多々あった。あらかじめ、書き写す内容をこちらで決めていたが、今後は学生が大切だと思う箇所を書き写せるようなレジュメの形式を取れるように工夫していこうと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

演習科目ではあるが、3分の2は理論である。演習ではグループワークを行っているが、グループによってはなかなか話が進まないグループ、やる気が感じられないグループなど様々である。事前課題や事後課題をグループでの課題にすることが多いのだが、完成度に大きな差がある。学生の授業アンケートで、極端に学習時間が短かったが、このグループでの課題への取組が学生の身になっていないように感じた。毎回、グループを替えてワークを行ってきたので、今後はグループを固定し、学生自身がグループでの自分の役割を認識できるように進めていこうと考えている。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 藤田 悦代 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育表現演習Ⅱ **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53167ab **授業形態** : 演習 **受講者数** : 40名 **回答者数** : 25名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	1	24	-	-	-	-	-	22	-	3

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.48		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 12.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 88.0%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 8.0%	90分 程度 4.0%	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 88.0%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.56		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 16.0%	やや 高かった 12.0%	適切 であった 72.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.80		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 52.0%	注意 していた 32.0%	ある程度 注意 していた 16.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.68		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.56		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.88		■				

1 授業改善の工夫

2 アンケート結果に対する見解

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 柳田 紀美子 **職名** : 非常勤 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(表現・身体表現) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53161abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 61名 **回答者数** : 49名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	48	-	-	1	-	-	-	48	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.14		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 2.0%	60分 程度 -	30分 程度 12.2%	ほとんど していない 85.7%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 85.7%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.10		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 6.1%	やや 高かった 24.5%	適切 であった 40.8%	やや 低かった 16.3%	非常に 低かった 12.2%	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.67		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 22.4%	注意 していた 18.4%	ある程度 注意 していた 36.7%	あまり 注意し ていなかった 16.3%	全く 注意し ていなかった 6.1%	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	2.69		■				
総 合 評 価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	2.96		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.18		■				

1 授業改善の工夫

保育者として、子ども独自の表現世界を共感的に理解し、即時的に関わり援助できる身体的感性を養うには、保育者自身がまず身体表現をたのしいと感じることが最も大切である。しかしながら多くの学生は、これまでの学校教育で、スポーツや体育の経験はあるものの、身体表現の授業を経験したことがなく、苦手意識が強かった。学生の戸惑いや不安を少しでも和らげるような授業の導入方法を今後一層工夫していきたい。

2 アンケート結果に対する見解

本授業は、即時的に役立つ言語化された知識を提供し、ひとつの正解に向かわせるという形態をとっていない。また、授業内でのグループ活動が中心となるので、個人を対象とした授業時間外の課題を提供していない。したがって、アンケート項目が本授業の内容に必ずしも即しているわけではないと考える。もちろん学生の理解度への配慮、説明のし方についてはさらに丁寧な対応に向けて努力が必要であると考えているが、わからないけれどもまずはやってみようという精神も実技授業では必要な時もあると考える。

教員による授業アンケート (2017年度 後期)

教員名 : 増井 啓子 **職名** : 教授 **所属** : 地域こども学科
科目名称 : 保育(表現・幼児造形) **科目群** : 地域こども学科 専門教育科目
授業コード : 53151abc **授業形態** : 演習 **受講者数** : 77名 **回答者数** : 68名

回答者 内訳	学 年				学 科・コ ー ス					
	1回生	2回生	その他	無回答	生活未来科			地域こども 学科	その他	無回答
					生活福祉 コース	食物栄養 コース	ビジネス キャリア コース			
	66	1	-	1	-	-	-	67	-	1

評価項目		教員の 自己評価	学生の 評価平均		◇ 教員の自己評価				
					■ 学生の評価平均				
					1	2	3	4	5
受講 態度	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.47		■				
	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.5%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 13.2%	ほとんど していない 85.3%	無回答 -	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれくらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 2.9%	90分 程度 -	60分 程度 1.5%	30分 程度 10.3%	ほとんど していない 85.3%	無回答 -	
授業 内容	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.54		■				
	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 10.3%	やや 高かった 13.2%	適切 であった 76.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 -	
授業 の 進 め 方	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75		■				
	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 38.2%	注意 していた 41.2%	ある程度 注意 していた 20.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答 -	
	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.71		■				
総合 評価	⑨ 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができましたか。	4	4.62		■				
	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.76		■				

1 授業改善の工夫

15回の授業の中で季節や行事を通した制作遊び、造形の素材、道具の扱い方、保育者としての製作技術、作品の環境構成などの内容を盛り込んでいくと時間が足りないと感じる。このことを補うために配布資料を毎回配っている。また、造形活動の授業では作品を完成させるだけではなく片付けも大切な要素である。それぞれの材料の始末の仕方を知ってそのものの特性を知ることになる。造形活動の片づけが感性を育てる大切な時間であることを学生自身が意識できるよう表示した。

2 アンケート結果に対する見解

学生自身が主体となって積極的に活動できるよう、特に造形表現を促す環境づくりを工夫した。身近な素材等造形活動の内容に応じて材料や用具を自分で選択できるように物的な環境を整えておくことを意識した。また、出来上がった作品を学生同士で鑑賞しあえるよう作品の展示スペースを設けお互いの学びを広げることを心がけた。授業では保育者自身の感性を育てることと、子どもの活動としてどのように展開していくのか等、視点を持って取り組んだ。特に、造形の基礎【表現に生かすいろいろな技法】材料経験【紙、粘土、自然素材、身近な素材等を生かした造形】幼児の造形表現の理解、幼児の造形表現の特質や発達の特徴、幼児画の見方など実技を中心とした総合的な表現力を目標とした。

